

人 間 開 発 学 部

【初等教育学科】

小笠原 優 子 教 授 ……	174
長 田 恵 理 教 授 ……	175
近 藤 良 彦 教 授 ……	176
坂 本 正 徳 教 授 ……	177
柴 田 保 之 教 授 ……	178
杉 田 洋 教 授 ……	179
高 橋 幸 子 教 授 ……	180
高 山 真 琴 教 授 ……	181
寺 本 貴 啓 教 授 ……	182
成 田 信 子 教 授 ……	183
前 田 麦 穂 助 教 ……	184
三 田 大 樹 准 教 授 ……	185
吉 川 成 夫 教 授 ……	186
渡 邊 雅 俊 教 授 ……	187

【子ども支援学科】

青 木 康太朗 教 授 ……	203
塩 谷 香 教 授 ……	204
島 田 由紀子 教 授 ……	205
鈴 木 みゆき 教 授 ……	206
中 野 圭 祐 助 教 ……	207
夏 秋 英 房 教 授 ……	208
野 澤 純 子 教 授 ……	209
廣 井 雄 一 准 教 授 ……	210
柳 生 崇 志 准 教 授 ……	211
山 瀬 範 子 教 授 ……	212
結 城 孝 治 教 授 ……	213
吉 永 安 里 教 授 ……	214

【健康体育学科】

伊 藤 英 之 准 教 授 ……	188
太 田 直 之 教 授 ……	189
大 矢 隆 二 教 授 ……	190
川 田 裕 樹 教 授 ……	191
小 林 唯 准 教 授 ……	192
神 事 努 准 教 授 ……	193
千 野 謙 太 郎 准 教 授 ……	194
富 田 一 誠 教 授 ……	195
林 貢 一 郎 教 授 ……	196
備 前 嘉 文 教 授 ……	197
藤 田 大 誠 教 授 ……	198
町 田 樹 准 教 授 ……	199
三 田 沙 織 准 教 授 ……	200
山 田 佳 弘 教 授 ……	201
渡 辺 啓 太 准 教 授 ……	202

【 職・氏名 】	教授(特別専任) 小笠原 優子 (OGASAWARA Yuko)
【 学 位 】	教育学士
【本学就任年月日】	2015年04月01日
【 略 歴 】	横浜国立大学 教育学部 社会科 卒業
【 研究分野 】	社会科教育
【 所属学会 】	日本道德教育学会, 日本道德科教育学研究学会, 日本子ども社会学会, 全国社会科教育学会
【学外委員等活動】	〔過去5年間〕横浜市教育委員会 横浜市立富士見台小学校学校運営協議会委員, 横浜市教育委員会 横浜市立鴨志田第一小学校学校運営協議会委員, 横浜市立西富岡小学校「社会科」講師, 横浜市立川和小学校「社会科」講師
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「『道德の教科化』に伴う大学の教員養成課程における『道德の指導法』の改善－学生の小・中学校道德授業における学習経験をふまえて	日本女子大学教育学科の会「人間研究」	第54号	27～34	日本女子大学教育学科の会	2018年03月
論文	単著	「共育における学生の学びの実態と課題～地域と連携した学びの共同体づくりに向けてⅢ」	『國學院大學人間開発学研究』	第7号	P199, 16	國學院大學人間開発学会	2016年02月
論文	単著	「共育における学生の学びの実態と課題～地域と連携した学びの共同体づくりに向けてⅡ」	『國學院大學人間開発学研究』	第5号	105～117	國學院大學人間開発学会	2014年02月01日
論文	単著	「共育における学生の学びの実態と課題～地域と連携した学びの共同体づくりに向けて」	『國學院大學人間開発学研究』	第4号	61～70	國學院大學人間開発学会	2013年02月01日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目
2024年度: 教育実習 I A(事前指導)(小), 教育実習 I A(事前指導)(幼・小), 教育インターンシップ

【 職・氏名 】	教授 長田 恵理 (OSADA Eri)
【 学 位 】	修士(言語学)
【本学就任年月日】	2013年04月01日
【 略 歴 】	大阪外国語大学 外国語学部 イタリア語科 卒業 上智大学大学院 外国語学研究科 言語学専攻博士前期課程 修了 上智大学大学院 外国語学研究科 言語学専攻博士後期課程 満期退学
【 研究分野 】	小学校外国語教育, 応用言語学
【 所属学会 】	大学英語教育学会(JACET), 中部英語教育学会, 小学校英語教育学会(JES), 日本児童英語教育学会
【学外委員等活動】	[過去5年間] 葛飾区立東綾瀬小学校 現職教員研修講師, 墨田区小学校教育研究会外国語部会 講師, 大学英語教育学会 総務委員, 港区小学校研究会外国語部会講師
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	韓国の初等学校英語教育における 教員養成課程の展望と実態	國學院大學人間開発 学研究	第15号	35～49	國學院大學人間開 発学会・國學院大學 人間開発学部	2024年02月28日
論文	共著	「小学校英語の指導者と指導体制」 の問題をめぐる文献検討—JASTEC Journal掲載論文を中心として—	日本児童英語教育学 会(JASTEC)研究紀 要	42	127～160, 34	日本児童英語教育 学会	2023年11月30日
論文	単著	初等教職専門科目での英語接触時 間の確保: 英語による指導力向上 を目指して	國學院大學人間開発 学研究	第13号		國學院大學人間開 発学部	2022年02月28日
著書等出版物	共著	Developing J-POSTL Elementary for English Language Teacher Education in Japan: Challenges and Opportunities	Tools, Techniques and Strategies for Reflective Second & Foreign Language Teacher Education		53～72	J.B. Metzler	2024年05月28日
著書等出版物	共著	CROWN Jr.5および6				三省堂	2024年02月25日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	共著	文字が示す音の読み方指導の実践	國學院大學人間開発 学研究	第10号	1～16, 16	國學院大學人間開 発学会	2019年02月28日
論文	共著	EUの複言語政策と、イタリアに於ける 外国語教育の現状と課題—日本の 小学校英語教育の教科化への示唆—	GR-同志社大学グ ローバル地域文化学 会紀要	第9号	22	同志社大学グロー バル地域文化学会	2017年10月01日
論文	単著	A TEACHER'S DECISION- MAKING PROCESS IN AN ELEMENTARY SCHOOL EFL EDUCATION	International Journal for 21st Century Education	Vol.3, No.2	10	Universidad de Có rdoba	2016年12月01日
論文	単著	小学校外国語活動における教師の Codeswitching—L1使用に着目して —	JACET言語教師認知 研究集録 Language Teacher Cognition Research Bulletin 2015		13	JACET言語教師認 知研究会	2015年10月01日
著書等出版物	共著	CROWN Jr.5および6				三省堂	2020年02月25日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	初等・中等の英語教職課程における 段階別省察力育成方法の研究	日本学術振興会	山口高 領	23K00726	4680000	2023年04月01日～ 2026年03月31日
科研費	基盤研究(C)	小学校外国語教育において児童の 自立学習を促す指導モデルの開発	日本学術振興会	長田恵 理	19K00770	1820000	2019年04月01日～ 2024年03月31日
科研費	基盤研究(B)	省察ツールとしてのポートフォリオの 体系化と活用ガイドの開発	日本学術振興会	神保尚 武	19H01288	15990000	2019年04月01日～ 2022年03月31日

担当授業科目

2024年度: 演習(人間開発学部), 演習・卒業論文(人間開発学部), 外国語概説, 教育実習 I A(事前指導)(小), 導入基礎演習, 英語コミュニケーション演習A, 英米語概論 II, 英米地域文化論 II, 初等科教育法(外国語)

【 職・氏名 】	教授 近藤 良彦 (KONDO Yoshihiko)
【 学 位 】	理学博士 (1991年03月,名古屋大学,理博第618号)
【本学就任年月日】	1996年04月01日
【 略 歴 】	高知大学 理学部 物理学科 卒業 高知大学大学院 理学研究科修士課程 物理学専攻 修了 名古屋大学大学院 理学研究科博士課程後期 物理学専攻 修了
【 研究分野 】	物理学、理科教育
【 所属学会 】	日本物理学会
【学外委員等活動】	〔過去5年間〕横浜青葉消防団 副班長, 横浜市立山内中学校 学校運営協議会委員
【 受賞歴等 】	令和2年度「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	QCD sum rules for positive and negative parity heavy baryons at next-to-leading order in α_s -expansion	Physical Review D	109	114032-1～114032-18, 18	American Physical Society	2024年06月21日
論文	単著	小学校理科における偏光板の教材性 —対応がない標本と対応がある標本の検定を組み合わせた調査—	國學院大學人間開発学研究	第14号	11～32	國學院大學人間開発学会	2023年02月28日
論文	単著	偏光板を使ったものづくりの試み —小学校理科における提案授業—	國學院大學人間開発学研究	第13号	1～16	國學院大學人間開発学会	2022年02月28日
Misc	共著	「たまブラザー宇宙の学校 2022」報告 —コロナ禍における対策と共に—	國學院大學人間開発学研究	第14号	131～144	國學院大學人間開発学会	2023年02月28日
著書等出版物	共著	Officeで学ぶコンピューター活用入門			157	ムイスリ出版	2021年12月28日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	なぜ光の速さを超えられないのか—わかりやすい速度の合成則の導出—	國學院大學人間開発学研究	第9号	121～142, 218	國學院大學人間開発学会	2018年02月28日
論文	単著	電気の流れと力をイメージしよう —電流と電圧をイメージする効果—	國學院大學人間開発学研究	第4号	19～30	國學院大學人間開発学会	2013年02月28日
論文	共著	Positive and negative-parity flavor-octet baryons in coupled QCD sum rules	Physical Review D	Volume 75, Number 3	034010, 7	アメリカ物理学会	2007年02月01日
論文	共著	Two-hadron-irreducible QCD sum rule for pentaquark baryon	Physics Letter B	Volume 611	93～101	エルゼビア	2005年03月01日
論文	共著	New Approach to Axial Coupling Constants in the QCD Sum Rule	Physical Review Letters	Volume 84, Number 11	2326～2329	アメリカ物理学会	2000年03月01日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目

2024年度: 理科実験・観察法(エネルギー), 演習・卒業論文(人間開発学部), 宇宙物理学入門【火曜日オンデマンド型授業】, コンピュータと情報Ⅱ(データ処理入門), コンピュータと情報Ⅰ, 演習(人間開発学部), 導入基礎演習, 理科実験・観察基礎論

【 職・氏名 】	教授 坂本 正徳 (SAKAMOTO Masanori)
【 学 位 】	博士(理学) (1993年06月,大阪市立大学,第2796号)
【本学就任年月日】	1994年04月01日
【 略 歴 】	大阪市立大学 理学部 卒業 大阪市立大学 大学院 博士課程前期 理学研究科 修了 大阪市立大学 大学院 博士課程後期 理学研究科 満期退学
【 研究分野 】	情報地質学
【 所属学会 】	日本情報地質学会, 日本地質学会
【学外委員等活動】	〔過去5年間〕日本情報地質学会 副会長, 日本情報地球学会 総務委員長
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
著書等出版物	編著	『國學院大學人間開発学部 令和4年度「FD推進助成(甲)学部FD推進事業」人間開発学部における専門教育科目の在り方に関する探究ーディプロマ・ポリシーを視野に入れてー』報告書			111 (1～68, 99～111)	國學院大學人間開発学部FD推進委員会(委員長・成田信子)	2023年02月28日
著書等出版物	編著	『國學院大學人間開発学部 令和3年度「FD推進助成(甲)学部FD推進事業」学部将来構想念に基づく学部カリキュラムの点検・整備』報告書			92 (1～7, 24～75)	國學院大學人間開発学部FD推進委員会(委員長・成田信子)	2022年02月28日
著書等出版物	共著	Officeで学ぶコンピューター活用入門			157 (1～157)	ムイスリ出版	2021年12月28日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	日本情報地質学会の教育活動と情報地質学教育の展望	情報地質	30, 4	147～159, 13	日本情報地質学会	2019年12月25日
論文	単著	作図した地質図を理解するためのコンピュータ3次元地質図の提示	人間開発学研究	6	83～92	國學院大學人間開発学会	2015年02月28日
Misc	単著	文章力向上サービス「文採」と校正・推敲支援ツール「Tomarigi」	平成30年度國學院大學FD推進事業助成(乙)成果報告書「ルーブリックを活用した日本語関連科目の学修支援」		39～46, 8	國學院大學	2019年03月20日
著書等出版物	共著	Office2013/2016によるコンピューター活用入門			160 (1～160)	ムイスリ出版	2016年03月24日
著書等出版物	共著	Excelがわかる表計算とデータ処理ーOffice2013対応ー			116 (63～86)	ムイスリ出版	2014年12月17日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	奨励研究(A)	地理・地質情報システムの開発	日本学術振興会	坂本正徳	08740398	1000000	1996年04月01日～1997年03月31日
科研費	奨励研究(A)	地質構造推定理論を導入した地質情報解析システムの構築	日本学術振興会	坂本正徳	07740407	1000000	1995年04月01日～1996年03月31日

担当授業科目	
2024年度: 理科実験・観察法(地球), コンピュータ分析法, 導入基礎演習, 情報科学入門【木曜日オンデマンド型授業】, 演習・卒業論文(人間開発学部), コンピュータと情報 I, 演習(人間開発学部)	

【 職・氏名 】	教授 柴田 保之 (SHIBATA Yasuyuki)
【 学 位 】	教育学修士
【本学就任年月日】	1987年04月01日
【 略 歴 】	東京大学 教育学部 卒業 東京大学 大学院 教育学研究科修士課程 修了 東京大学 大学院 教育学研究科博士課程 満期退学
【 研究分野 】	重度・重複障害児の教育、知的障害者の社会教育
【 所属学会 】	日本教育心理学会, 日本発達心理学会, 日本特殊教育学会
【学外委員等活動】	[過去5年間]公益財団法人重複障害教育研究所 理事
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	知的障害当事者の声なき声と内面 世界から探る『学び』へのいざない	SNEジャーナル	30巻1 号	27～41	文理閣	2024年10月30日
論文	単著	英語圏における介助つきコミュニ ケーションの現在:当事者自らの著 作を中心に	國學院大學人間開発 研究	14巻	103～115	國學院大學人間開 発学部	2023年02月28日
論文	単著	自閉症の子どもの指差しに関する 試論的考察—新しい自閉症理解を めざして—	國學院大學教育学研 究室紀要	56号	7～23	國學院大學教育学 研究室	2022年02月20日
論文	単著	津久井やまゆり園の事件と知的障 害当事者の主張	『月刊社会教育』	65巻2 号	19～ 25, 7	旬報社	2021年02月01日
著書等出版物	単著	『社会に届け、沈黙の声』			272	萬書房	2020年12月10日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「先天性盲聾児に対する点字や指 文字による言語教育の可能性」	『人間開発学研究』	9号	57～ 72, 295	國學院大學人間開 発学部	2018年02月28日
論文	単著	「命の価値 相模原事件の被害者 の真実」	『教育』	2017年 6月号	11～ 18, 112	かもがわ出版	2017年06月01日
論文	単著	「内なる言葉の世界への架橋」	『研究紀要』	6巻7号	109	公益財団法人重複 障害教育研究所	2017年03月31日
論文	単著	「意思表示に困難を抱える障害者 が語る津久井やまゆり園事件」	『人間開発学研究』	8号	1～ 20, 20	國學院大學人間開 発学部	2017年02月28日
論文	単著	「新しい出生前診断と知的障害当 事者の言葉」	『人間開発学研究』	7号	31～ 50, 331	國學院大學人間開 発学部	2016年02月29日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(B)	ヨーロッパにおける先天性盲ろう児 の共創コミュニケーションに関する 調査研究	日本学術振興会	菅井 裕行	20402068	6370000	2008年度～2010年 度

担当授業科目

2024年度:教職実践演習,発達と学習(小), 演習(人間開発学部), 肢体不自由児の教育, 発達と学習, 視覚障害児教育総論, 専門基礎演習, 特別な教育的ニーズとインクルーシブ社会, 導入基礎演習, 演習・卒業論文(人間開発学部), 特別支援教育実習, 肢体不自由児の心理・生理・病理

【 職・氏名 】	教授 杉田 洋 (SUGITA Hiroshi)
【 学 位 】	法学士
【本学就任年月日】	2015年04月01日
【 略 歴 】	日本大学 法学部政治経済学科 卒業
【 研究分野 】	特別活動、学校・学級経営、教職論
【 所属学会 】	日本特別活動学会
【学外委員等活動】	〔過去5年間〕(株)パデコ教育開発部 エジプト国特別活動を中心とした日本式教育モデル発展・普及プロジェクト(第1期), 日本特別活動学会 理事, 文部科学省国立教育政策研究所「小学校学習指導要領実施状況調査に関する調査研究」に関する問題作成委員 主査, 文部科学省国立教育政策研究所「小学校・特別活動映像資料」協力者 主査
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
著書等出版物	監修	特別活動で学校が変わる			128	小学館	2021年03月22日
著書等出版物	監修	学級活動・学級生活(教材) 楽しい学級生活ノート 1年生～6年生版 各1冊				文溪堂	2021年03月01日
著書等出版物	共著	特別活動で日本の教育が変わる		192		小学館	2020年07月20日
講演・発表	単独	エジプトにおけるTokkatsuの新たな展開	特活カフェ			日本特別活動学会	2021年12月12日
講演・発表	単独	エジプトで受け入れられた日本式Tokkatsu ―今後の海外展開の可能性―	京都大学大学院教育学研究科 グローバル教育展開オフィス 講演			京都大学 グローバル教育展開オフィス	2021年02月19日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
講演・発表	単独	今こそ求められる特別活動の教育力 ―人間関係形成・社会参画・自己実現の力を育てる―	島根県教育センター 特別活動講座			島根県教育委員会	2021年10月08日
講演・発表	単独	心を育て、つなぐ日本式Tokkatsu ―実践活動や体験活動を通じた道徳教育―	新潟県道徳教育研究会			新潟モラロジー道徳教育財団	2021年09月25日
講演・発表	単独	学級づくりを土台にした生徒指導 ―特別活動等の集団の教育力の再構築と活用―	西脇市教職員講演会			西脇市教育委員会	2021年08月02日
講演・発表	単独	子供を育て、集団を創る特別活動 ―学力向上、積極的な生徒指導の基盤づくり―	うるま市学力向上推進教育講演会			うるま市教育委員会	2021年07月28日
講演・発表	単独	子供がより良く育つ学校づくり ―教師力・学校力の向上を目指して―	青森県校長研修講座			青森県教育委員会	2021年07月27日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	未来志向型コンピテンシーを育てる特別活動:話し合い活動を中心に	日本学術振興会	山田 真紀	18K02373	4290000	2018年04月01日～2023年03月31日
科研費	基盤研究(A)	日本型21世紀対応教育の国際モデル化に関する国際比較研究―多元的モデルの構築	日本学術振興会	恒吉 僚子	15H01987	45370000	2015年04月01日～2019年03月31日

担当授業科目	
2024年度: 教職論, 演習・卒業論文(人間開発学部), 導入基礎演習, 演習(人間開発学部), 特別活動の理論と方法(小), 教育実習Ⅲ(教壇実習)(小), 教育実習Ⅱ(参観実習)(小), 教育実習ⅠA(事前指導)(小)	

【 職・氏名 】	教授 高橋 幸子 (TAKAHASHI Sachiko)
【 学位 】	修士(特別支援教育学)
【本学就任年月日】	2016年04月01日
【 略 歴 】	早稲田大学 第一文学部日本文学専攻 卒業 東京学芸大学 特殊教育特別専攻科 修了 筑波大学 教育研究科特別支援教育専攻 修了
【 研究分野 】	特別支援教育、知的障害教育、就学前支援
【 所属学会 】	日本乳幼児教育・保育者養成学会, 日本発達障害学会, SNE学会, 日本特殊教育学会, 日本発達心理学会, 日本LD学会, 日本教師教育学会
【学外委員等活動】	(過去5年間) 重度障害者・生涯学習ネットワーク「重度医療的ケア対象者の訪問型生涯学習支援」に向けた実践研究連携協議会委員, 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 運営委員会 外部評価部会委員, 神奈川県立高津支援学校 研究アドバイザー, 日本臨床発達心理士会 研修委員会委員, 「幼稚園における障害のある幼児の指導のために(仮称)」編集協力者会議, 社会福祉法人桐親会 評議員, 筑波大学附属大塚特別支援学校 学校評議員, 横浜市立箕輪小学校重点研講師, 横浜市立新石川小学校学校運営協議会委員

【 受賞歴等 】

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ~終了ページ,ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	特別支援教室構想のその後に関する一考察ーインクルーシブ教育を実現するプロセスとしての展望ー	國學院大學人間開発学研究	第15号	51~64	國學院大學人間開発学会	2024年02月28日
論文	単著	教育実習をめぐる諸問題と今後の展望	発達障害研究	第42巻第4号	323~332	日本発達障害学会	2021年2月28日
著書等出版物	編著	特別支援学校教育実習ガイドブック: インクルーシブ教育時代の教員養成を目指して			141(25~40)	学苑社	2022年05月01日
講演・発表	単独	特別支援教室構想のその後に関する一考察(2)ーインクルーシブ教育を実現するための機能の検討ー	日本特殊教育学会第62回大会			日本特殊教育学会	2024年09月06日
講演・発表	単独	特別支援教室構想のその後に関する一考察ーインクルーシブ教育を実現するプロセスとしての展望ー	日本特殊教育学会第61回大会発表			日本特殊教育学会	2023年08月26日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ~終了ページ,ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	養育者のニーズにこたえる「子育て講座」の検討: 効果測定尺度を用いた分析から	國學院大學人間開発学研究	第8号	179~189	國學院大學人間開発学会	2017年02月01日
論文	共著	特別支援学校幼稚部における就学支援の取り組み~障害を併せ有する幼児への連携した取り組みを通して~	筑波大学特別支援教育研究	第8巻	23~29	筑波大学特別支援教育研究センター	2014年03月01日
論文	共著	運動面に配慮を要する知的障害児への発達支援の取り組みー複数機関との連携を通してー	筑波大学特別支援教育研究	第6巻	2~10	筑波大学特別支援教育研究センター	2012年03月01日
論文	共著	特別支援学校幼稚部の取り組みー「個別の教育支援計画」に基づく連携した支援とセンター的機能の在り方の追究ー	発達障害研究	第33巻第2号	176~187	日本発達障害学会	2011年05月01日
著書等出版物	単著	特別支援教育第3版一人ひとりの教育的ニーズに応じて13章「知的障害」分担執筆			231(178~192)	福村出版	2019年04月15日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	奨励研究	就学前児への支援におけるICTツールを用いた保護者との情報交換に関する実践的検討	日本学術振興会	高橋幸子	25911011	600000	2013年4月1日~2014年3月31日
笹川研究助成	実践研究	特別支援教育時代の特別支援学校幼稚部の役割と課題ー全国特別支援学校幼稚部実態調査からー	日本科学協会	高橋幸子	研究番号22-811	330000	2010年4月1日~2011年3月31日
科研費	奨励研究	特別支援教育時代の特別支援学校幼稚部の役割ー実態調査から今後の課題を探るー	日本学術振興会	高橋幸子	20910016	800000	2008年

担当授業科目

2024年度: 教育の方法と技術(小)、導入基礎演習、知的障害児の教育、特別な教育的ニーズとインクルーシブ社会、演習・卒業論文(人間開発学部)、特別支援教育総論、演習(人間開発学部)、障害児指導法、教育インターンシップ、特別支援教育実習

【 職・氏名 】	教授 高山 真琴 (TAKAYAMA Makoto)
【 学 位 】	芸術学修士
【本学就任年月日】	2009年04月01日
【 略 歴 】	武蔵野音楽大学 音楽学部 器楽科(ピアノ) 卒業 武蔵野音楽大学 大学院音楽研究科修士課程 器楽専攻 修了 ドレスデン カール・マリア・フォン・ウェーバー音楽大学 留学
【 研究分野 】	音楽教育, 芸術学(演奏表現)
【 所属学会 】	日本音楽教育学会, 全国大学音楽教育学会関東地区学会, 日本声楽発声学会
【学外委員等活動】	
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
講演・発表	単独	教科・音楽の企み	青葉6大学連携特別 講座			横浜市青葉6大学連 携事業	2021年11月28日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	教科指導に必要なピアノ演奏力の 育成 ～機能と声理論に基づくス タートプログラムについて～	『國學院大學 人間開 発学研』第9号		73～82	國學院大學人間開 発学部・國學院大學 人間開発学会	2018年02月28日
論文	単著	教員養成課程の学生に対する読譜 の指導について ～読譜力を獲得 するための実践的手法 4～	『國學院大學 人間開 発学研』第8号		21～33	國學院大學人間開 発学部・國學院大學 人間開発学会	2017年02月28日
論文	単著	教員養成課程の学生に対する読譜 の指導について ～読譜力を獲得 するための実践的手法 3～	『國學院大學 人間開 発学研』第6号		29～ 39	國學院大學人間開 発学部・國學院大學 人間開発学会	2015年02月28日
論文	単著	教員養成課程の学生に対する読譜 の指導について ～読譜力を獲得するための実践的 手法2～	『國學院大學 人間開 発学研』第5号		17～ 25, 302	國學院大學人間開 発学部・國學院大學 人間開発学会	2014年02月28日
論文	単著	教員養成課程の学生に対する読譜 の指導について ～読譜力を獲得するための実践的 手法1～	『國學院大學 人間開 発学研』第4号		51～ 59, 197	國學院大學人間開 発学部・國學院大學 人間開発学会	2013年02月28日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目

2024年度：派遣研究期間のため担当授業科目なし

【 職・氏名 】	教授 寺本 貴啓 (TERAMOTO Takahiro)
【 学 位 】	博士(教育学) (2010年03月, 広島大学, 第5134号)
【本学就任年月日】	2010年04月01日
【 略 歴 】	常葉学園大学 教育学部初等教育課程 卒業 広島大学 大学院教育学研究科 修士課程 修了 広島大学 大学院教育学研究科 博士課程 修了
【 研究分野 】	理科教育学、学習科学、教育方法学
【 所属学会 】	日本理科教育学会, 日本教科教育学会, 日本教育心理学会, 日本教育工学会, 日本科学教育学会, 臨床教科教育学会, 日本教授学習心理学会
【学外委員等活動】	〔過去5年間〕全国学力・学習状況調査、小学校理科・問題作成分析委員会委員 副主査, 全国学力・学習状況調査、小学校理科・問題作成分析委員会委員 副主査, 平成15年度 静岡県教育研究奨励賞(小学校の部)「優良賞」受賞, 日本理科教育学会 広報委員, 国立教育政策研究所 全国学力・学習状況調査、小学校理科・問題作成分析委員会委員, NHK理科番組「ふしぎエンドレス」番組委員
【 受賞歴等 】	平成15年度 静岡県教育研究奨励賞(小学校の部)「優良賞」受賞(2003年), 平成16年度 熱海市教育文化振興会賞受賞(2004年), 第5回「児童教育実践についての研究助成事業」優秀賞受賞(2011年)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	新学習指導要領における小学校理科の評価の在り方と指導に関する一考察-新しい観点別学習状況の評価で指導がどのように変わるのか-	國學院大學人間開発学研究	11	(1~13)	國學院大學人間開発学会	2021年03月01日
著書等出版物	単著	子どもが問題を見いだすためにどこまで緻密に導入場面を考えるのか-「注目」と「着目」で考え「導入場面の本質」を視覚化する「授業展開モデル」-	理科の教育	2025/Vol.74	5~8	日本理科教育学会	2025年1月28日
著書等出版物	共著	「問題を見いだす」理科授業: マンガでわかる導入場面			16~32	東洋館出版社	2024年4月6日
著書等出版物	共著	これからはじめる“GIGA” 全学年・全単元×1人1台端末×活用事例 小学校理科			10~34	日本標準	2022年3月29日
著書等出版物	共著	イラスト図解ですっきりわかる理科授業づくり編			44~70	東洋館出版社	2022年03月11日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	小学校理科教科書におけるものづくりの扱いに関する一考察	学習開発学研究	14	24~31	広島大学大学院人間社会科学部研究科 学習開発学領域	2022年
論文	共著	問題解決の力の育成の意義と「探究の質」の向上(特集 理科 新学習指導要領に向けた指導の在り方 問題解決の力を育成する)	初等教育資料	967	50~53	東洋館出版社	2018年
著書等出版	共著	おうちでカンタン!おもしろ実験ブック 化学反応			2~3, 78~79	秀和システム	2024年11月15日
著書等出版	共著	理科教育学研究の展開 理論と実践をつなぐ			258~263	東洋館出版社	2022年07月12日
著書等出版	共著	イラスト図解ですっきりわかる理科			19, 20~21, 24~27, 32~33, 38, 46~53, 74~75, 80~83, 113, 148	東洋館出版社	2019年02月07日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
委託研究		全国学力・学習状況調査の測定特性を踏まえたCBT調査問題開発の在り方に係る調査研究事業	国立教育政策研究所	寺本 貴啓		30000000	2024年12月05日 ~ 2025年03月19日
科研費	基盤研究(A)	小学校におけるCBTを活用したテストモデルの開発と能力測定の有効性に関する研究	日本学術振興会	寺本 貴啓	19H00624	43030000	2019年04月01日 ~ 2023年03月31日
科研費	基盤研究(B)	協働によるDeep Learningを促進する指導デザインの開発と検証	日本学術振興会	寺本 貴啓	16H03802	17680000	2016年04月01日 ~ 2020年03月31日

担当授業科目

2024年度: 初等科教育法(理科), 理科概説, ICT授業構成論, 演習(人間開発学部), ICT教育活用論

【 職・氏名 】	教授 成田 信子 (NARITA Nobuko)
【 学位 】	修士(人文科学)
【本学就任年月日】	2009年04月01日
【 略 歴 】	お茶の水女子大学 文教育学部国文学科 卒業 お茶の水女子大学 大学院人文科学研究科 修士課程 修了
【 研究分野 】	国語教育
【 所属学会 】	全国大学国語教育学会, 日本文学協会, あまみきみこ研究会
【学外委員等活動】	[過去5年間]厚生労働省社会保障審議会 福祉文化分科会 出版物委員会委員, あまみきみこ研究会 会務委員, 特定非営利活動法人ワーカーズ・コレクティブパレット 第三者委員, 財団法人博報財団 博報賞審査委員
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	メルロ=ポンティにおけるアンリ。フロン受容の教育への示唆	『東京大学大学院教育学研究科紀要』	第63号	427～434	東京大学大学院教育学研究科	2024年3月
論文	単著	「わたし」が語る戦争の物語:『あるひあるとき』の物語の仕組み	『国語教育史研究』	23号	27～34	国語教育史学会	2023年3月
論文	単著	言葉の学びから考える「人間開発」:「モチモチの木」の授業で子どもたちが学んだこと	『國學院大學人間開発学研究』	第13号	17～31	國學院大學人間開発学学会	2022年3月
その他	共著	令和元年度国際シンポジウム「神話・伝承の教材化と実践ー『子ども古事記』がひらく世界ー	『古事記学』	第7号	107～121, 15	國學院大學研究開発推進機構古事記学センター	2021年03月10日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	不思議を味わう文学の授業ーあまみきみこ「白いぼうし」の授業論ー	『国語の授業』	282号	88～95	児童言語研究会	2022年1月
Misc	単著	三輪氏子『「読むこと」の学習指導論研究ー読総合法の源流を訪ねて』	『国語の授業』	290号	65～67	児童言語研究会	2025年1月

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	LTDおよび反転授業に着目したクリティカル・リーディング力育成プログラムの開発	日本学術振興会	上村和美	15K04269	4810000	2015年04月01日～2022年03月31日
科研費	基盤研究(C)	大学初年次でのクリティカル・リーディング力育成カリキュラムと教材開発に関する研究	日本学術振興会	上村和美	22530840	3900000	2010年04月01日～2015年03月31日

担当授業科目

2024年度: 初等科教育法(国語), 導入基礎演習, 保育内容(言葉), 教職実践演習, 児童文学, 国語概説, 演習(人間開発学部), 演習・卒業論文(人間開発学部), 野外活動実習

【 職・氏名 】	助教 前田 麦穂 (MAEDA Mugiho)
【 学位 】	博士(教育学) (2019年09月04日, 東京大学, 博教育第336号)
【 本学就任年月日 】	2022年04月01日
【 略 歴 】	東京大学 教育学部 比較教育社会学コース 卒業 東京大学大学院 教育学研究科 比較教育社会学コース修士課程 修了 東京大学大学院 教育学研究科 比較教育社会学コース博士課程 修了
【 研究分野 】	教育行政, 教育委員会, 教員採用
【 所属学会 】	日本教育行政学会, 日本高等教育学会, 日本教育学会, 日本教育制度学会, 日本教育社会学会, 日本社会学会
【 学外委員等活動 】	〔過去5年間〕日本教育学会 若手育成委員会
【 受賞歴等 】	研究奨励賞(2024年9月), 第3回東京大学而立賞(2022年4月), 奨励賞(2019年08月), 第一種奨学金 特に優れた業績による返還免除(全額) (2016年06月)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	Recurring Teacher Shortages A Historical Analysis of Education Policy in Japan	Educational Studies in Japan International Yearbook	19	41～ 51	Japanese Educational Research Association	2025年03月31日
論文	単著	「教員採用選考試験の「早期化・複線化」政策の形成過程—1960年代から2020年代にかけての検討—	教育学研究	91～ 2	80～ 92	日本教育学会	2024年06月30日
論文	単著	拒否権プレイヤー論による地方教育政策研究の展開可能性—教員人事権移譲をめぐる比較事例分析から—	國學院大學人間開発学研究	15	1～ 16	國學院大學人間開発学部	2024年02月29日
論文	単著	府県・旧五大市による教員採用選考試験の合同実施の形成過程—戦後初期の大阪府・大阪市と神奈川県・横浜市を事例として—	日本教育制度学会30周年記念 日本教育制度学会紀要	特別号	367～ 385	日本教育制度学会	2023年11月01日
著書等出版物	単著	戦後日本の教員採用試験はなぜ始まり普及したのか				晃洋書房	2023年02月20日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	「教員採用統一試験」の政策形成過程「負担軽減」のロジックに着目して	『国立教育政策研究所紀要』	149	7～ 23	国立教育政策研究所	2020年03月
論文	単著	戦後初期における東京都教員適性検査制度の形成過程行政資料及び新聞記事の分析から	東京大学大学院教育学研究科紀要	59	137～ 147	東京大学大学院教育学研究科	2020年03月
論文	単著	Impact of Consultative Relationships on Teacher Self-Efficacy An Analysis of Six-Year Panel Data	CSRDA Discussion Paper Series	114	1～ 21, 21	東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター	2024年12月25日
論文	単著	教員採用制度における選考試験の導入過程—1950年代の鹿児島県を事例として—	東京大学大学院教育学研究科紀要	58	91～ 100	東京大学大学院教育学研究科	2019年03月
論文	単著	戦後初期の教員採用における選考権の運用実態—1950年代の富山県を事例として—	教育学研究	85～ 3	309～ 320	日本教育学会	2018年09月

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	若手研究	高度経済成長期における教員採用制度の構造変容に関する実証的研究	日本学術振興会	前田 麦穂	24K16616	4550000	2024年04月01日～2029年03月31日
科研費	基盤研究(B)	近現代日本の支配構造の社会階層形成史的解明:世襲と再生産に着目して	日本学術振興会	相澤 真一	JP23K25580	18590000	2023年04月01日～2028年03月31日
科研費	研究活動スタート支援	「教員不足」期における民間企業採用早期化の影響に関する実証的研究	日本学術振興会	前田 麦穂	JP22K20282	2730000	2022年08月31日～2024年03月31日

担当授業科目

2024年度: 演習(人間開発学部), 教育の原理, 専門基礎演習, 教職実践演習, 演習・卒業論文(人間開発学部), 人間開発基礎論(人間力育成の人間学), 学校・学級経営論, 導入基礎演習, 教育実習 I A(事前指導)(幼・小), 教育実習 I A(事前指導)(小)

【 職・氏名 】	准教授 三田 大樹 (MITA Hiroki)
【 学 位 】	修士(教育学) (2016年09月30日,東京学芸大学,修第9414号)
【本学就任年月日】	2024年04月01日
【 略 歴 】	明星大学 人文学部心理教育学科 卒業 東京学芸大学 大学院教育学研究科学校教育専攻 修了
【 研究分野 】	総合的な学習の時間及び生活科の指導法、カリキュラムマネジメント、子どもの対話を促進する教師の振舞い、思考ツール、教員養成、コミュニティ・スクール
【 所属学会 】	日本生活科・総合的学習教育学会
【学外委員等活動】	(過去5年間)渋谷区教育委員会「シブヤ未来科」探究ゼミアドバイザー, 日本生活科・総合的学習教育学会 第11期 常任理事(事業部長), NHK NHK for school「ドスルコスル」番組企画委員, 国立研究開発法人科学技術振興機構 日本科学未来館 探究学習オンラインコンテンツ開発にかかわるアドバイザー, 国立教育政策研究所 令和4年度 小学校学習指導要領実施状況調査結果分析委員会委員(総合的な学習の時間, 国立教育政策研究所 令和4年度 小学校学習指導要領実施状況調査問題作成委員会委員(総合的な学習の時間), 日本生活科・総合的学習教育学会 第10期 常任理事(学会誌編集部員), 文部科学省「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開ー未来社会を切り拓く確かな資質・能力の育成に向けた探究的な学習の充実とカリキュラム・マネジメントの実現ー」小学校編 作成協力者, 国立教育政策研究所「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 総合的な学習の時間 作成協力者, 高知県教育委員会 令和7年度「探求的な学び推進事業」研究会講師
【 受賞歴等 】	第13回がんばれば先生! 東京新聞教育賞(2011年03月), 杉並区教職員表彰(2005年03月)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ、終了ページ、ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	外国にルーツをもつ児童と創り上げた探究的な教育活動 ～共同エージェンシーが育むアイデンティティ～	教職の魅力共創⑦社会共創編 新たな学び・学校のかたち(4)	7	10～17	愛知教育大学出版会	2025年03月
論文	単著	コロナ禍においても総合的な学習の時間を推し進める教師のひらめきと行動: 小学校における3つの事例からー特集 新型コロナウイルス感染症禍中の生活・総合の課題と対応、新たな可能性	せいかつか&そうごう = The Japanese journal of education for life environment studies and integrated learning : 日本生活科・総合的学習教育学会誌	28	25～ 32	刈谷: 日本生活科・総合的学習教育学会	2021年03月
著書等出版物	共著	実践・小学校生活科指導法			vi, 136p 76～85	学文社	2024年03月
著書等出版物	共著	学習指導要領の未来(野田敬敏, 田村学 編著) 3アクティブラーニングと授業改善			148～155	学時出版	2021年08月
著書等出版物	共著	国立教育政策研究所「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料、小学校総合的な学習の時間 作成協力者			43～55	国立教育政策研究所	2020年03月

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ、終了ページ、ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	総合的な学習の時間における「探究の過程」をスパイラルに高めるブリッジとしての省察: 学びに向かう力の原動力としての自律システム思考に着目してー特集 新学習指導要領から考える生活科・総合的な学習の時間の継承と刷新	せいかつか&そうごう = The Japanese journal of education for life environment studies and integrated learning : 日本生活科・総合的学習教育学会誌	25	28～ 37	刈谷: 日本生活科・総合的学習教育学会	2018年
論文	共著	授業実践の記録と分析 10)総合的な学習の時間	「OECDとの共同による次世代対応型指導モデルの研究開発」プロジェクトー平成28年度研究活動報告書		144～ 155	東京学芸大学次世代教育推進機構	2017年03月
論文	単著	資質・能力の育成につなげるアクティブ・ラーニング	せいかつか&そうごう = The Japanese journal of education for life environment studies and integrated learning : 日本生活科・総合的学習教育学会誌	24	14～ 23	日本生活科・総合的学習教育学会	2017年03月
著書等出版物	共著	生活科・総合的学習事典			viii, 215p	溪水社	2020年09月
著書等出版物	共著	教職課程コアカリキュラム対応 大学用テキスト理論と実践の融合 総合的な学習の時間の指導法(村川 雅弘, 藤井 千春, 野口 徹 著)			46～49, 144～149	日本文教出版	2018年10月

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目

2024年度: 導入基礎演習, 教育実習Ⅱ(参観実習)(中・高), 初等科教育法(生活), 教育実習ⅠA(事前指導)(小), 教育の方法と技術(中・高), 総合的な学習の時間の理論と方法, 生活科概説, 演習(人間開発学部), 教育実習ⅠA(事前指導)(幼・小), 授業アセスメント論, 演習・卒業論文(人間開発学部)

【 職・氏名 】	教授 吉川 成夫 (YOSHIKAWA Shigeo)
【 学 位 】	教育学修士
【本学就任年月日】	2016年04月01日
【 略 歴 】	筑波大学 第一学群自然科学類数学専攻 卒業 筑波大学 大学院教育研究科数学教育専攻 修士課程 修了
【 研究分野 】	算数・数学教育
【 所属学会 】	日本科学教育学会, 数学教育学会, 日本学校図書館学会
【学外委員等活動】	[過去5年間] (財)理数教育研究所主催「算数数学の自由研究」中央審査委員, 東京・品川区立第一日野小学校校区協働委員会委員長, 社会福祉法人子供の町 評議員, 横浜市立新石川小学校 学校運営協議会委員
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	自分で調べる「プログラミング学習」を通した算数・数学科における思考体系の構成	子どもの学びを支援する学校図書館と教科等の学習		20～23, 4	日本学校図書館学会	2021年06月01日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	Computational Estimation Performance and Strategies Used by Fifth- and Eighth-Grade Japanese Students	Journal for Research in Mathematics Education	Volume 22, No. 1	39～58, 20	National Council of Teachers of Mathematics (全米数学教師協議会)	1991年01月01日
著書等出版物	共編著	小学算数 1年～6年(検定教科書)				教育出版株式会社	2020年01月20日
著書等出版物	共著	『小学校学習指導要領解説 算数編』			1～189, 189	東洋館出版社	2008年08月01日
著書等出版物	共著	Mathematics Curriculum in Pacific Rim Countries			9～22, 14	Information Age Publishing (米国)	2008年06月01日
著書等出版物	共著	Transforming Children's Mathematics Education: International Perspectives			430～435, 6	Lawrence Erlbaum Associates, Inc.(米国)	1990年03月01日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	特定領域研究	算数・数学において育成する諸能力とその系列に関する研究	日本学術振興会	長崎栄三	17011071	7600000	2005～2006年
科研費	特定領域研究	算数・数学教育の内容とその配列に関する総合的研究	日本学術振興会	長崎栄三	15020270	7500000	2003～2004年

担当授業科目

2024年度: 算数科授業構成論, 算数概説, 専門基礎演習, 導入基礎演習, 演習・卒業論文(人間開発学部), 初等科教育法(算数), 演習(人間開発学部)

【 職・氏名 】	教授 渡邊 雅俊 (WATANABE Masatoshi)
【 学位 】	博士(教育学) (2002年03月,東京学芸大学,博甲第31号)
【本学就任年月日】	2014年04月01日
【 略 歴 】	明治学院大学 文学部心理学科 卒業 横浜国立大学 大学院教育学研究科障害児教育専修 修了 東京学芸大学大学院連合学校 教育学研究科 発達支援講座 修了
【 研究分野 】	教育心理学
【 所属学会 】	日本特殊教育学会 会員, 日本発達心理学会 会員, 日本発達障害学会 会員, 日本教育心理学会 会員, 日本学校心理学会 会員
【学外委員等活動】	[過去5年間] 日本発達障害学会 常任編集委員, 東京家政大学 令和2年度大学院家政学研究科博士課程論文博士審査委員
【 受賞歴等 】	日本特殊教育学会 研究奨励賞(2009年09月20日)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	インクルーシブ教育時代の教員養成の視座	発達障害研究	42, 4	289～ 292, 4	日本発達障害学会	2021年02月01日
論文	単著	学びの協同性を育むための仲間との相互作用への援助事例	國學院大學人間開発学研究	12	33～ 44, 12	國學院大學人間開発学会	2021年02月01日
講演・発表		インクルーシブ教育に必要な教員養成に関する研究—通級による指導を経験した中学校教員に対するニーズ調査—	日本特殊教育学会第58回大会(2020福岡大会)ポスター発表(障害一般) P12-10			福岡教育大学	2020年09月19日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	プランニングの調整に外的評価の予告が及ぼす影響	教育心理学研究	62	87～ 100	一般社団法人 日本教育心理学会	2014年06月30日
論文	単著	Cognitive Processes in Formative Activity Containing Symbolic Use: Students with Mild to Moderate Intellectual Disabilities.	Japanese Journal of Special Education	48	581～ 591	一般社団法人日本特殊教育学会	2011年03月01日
論文	単著	構造化されていない問題における知的障害児のプランニングに関する研究	特殊教育学研究	46	149～ 161	一般社団法人日本特殊教育学会	2008年09月01日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	知的障害児の仲間との相互作用による学習活動における認知特性とその援助方法	日本学術振興会	渡邊雅俊	18K02800	2990000	2018年04月01日～ 2022年03月31日
科研費	基盤研究(C)	知的障害児の問題解決における仲間との相互作用の特徴とその援助に関する基礎的研究	日本学術振興会	渡邊雅俊	25381303	2340000	2013年04月01日～ 2016年03月31日
科研費	若手研究(B)	知的障害児の日常的問題解決におけるプランニングの発達とその援助に関する基礎的研究	日本学術振興会	渡邊雅俊	22730716	2080000	2010年04月01日～ 2013年03月31日

担当授業科目

2024年度: 生徒指導(中・高), 知的障害児の心理・生理・病理, 生徒指導・進路指導(小), 教育相談(中・高), 教育相談(小), 教育相談, 導入基礎演習, 人間形成の心理学, 演習(人間開発学部), 演習・卒業論文(人間開発学部), 発達障害児教育総論

【 職・氏名 】	准教授 伊藤 英之 (ITO Hideyuki)
【 学位 】	修士(教育学)
【本学就任年月日】	2008年04月01日
【 略 歴 】	日本大学 文理学部体育学科 卒業 日本大学 大学院文学研究科教育学専攻 博士前期課程 修了 大阪体育大学 大学院スポーツ科学研究科スポーツ科学専攻 博士後期課程 満期退学
【 研究分野 】	スポーツ心理学
【 所属学会 】	日本アプライドスポーツ科学会, 日本野球科学研究会, 日本体育・スポーツ・健康学会, 日本スポーツ心理学会, 日本コーチング学会, 日本応用心理学会
【学外委員等活動】	〔過去5年間〕日本アプライドスポーツ科学会 庶務・会計委員会委員, 横浜市南区地域振興課 永田みなみ台公園こどもログハウス指定管理者 選定委員会委員, 横浜市南区地域振興課 南スポーツセンター指定管理者 選定委員会委員, 日本アプライドスポーツ科学会学会大会委員会委員
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
著書等出版物	共著	競技スポーツの心理学(みらいスポーツライブラリー)			226(72~91)	みらい	2024年03月22日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	スポーツ実技の授業における運動強度のコントロールが感情に与える影響	國學院大學教育開発推進機構紀要	10	1～12, 12	國學院大學教育開発推進機構	2019年03月01日
論文	単著	メンタルトレーニングのアセスメントツールに関する基礎的研究—MHSA-2とDIPCA.3の関係による検討—	國學院大學人間開発学研究	10	17～28, 12	國學院大學人間開発学会	2019年02月28日
論文	単著	競技スポーツにおける不合理な信念と自動思考との関係—男子大学生アスリートによる検討—	國學院大學紀要	57	93～106, 14	國學院大學	2019年01月31日
論文	単著	ジュニア選手に対するメンタルトレーニングの一事例	國學院大學人間開発学研究	7	63～72	國學院大學人間開発学会	2016年02月01日
論文	単著	競技スポーツ経験は日常行動に影響を与えるのか? : 間隙通過課題による基礎的検討	國學院大學人間開発学研究	5	43～51	國學院大學人間開発学会	2014年02月01日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目

2024年度: メンタルヘルス, 導入基礎演習, コーチング論, スポーツ心理学演習, スポーツ実技A, スポーツ・身体文化IA, スポーツ心理学, 演習(人間開発学部), スポーツ実技B, メンタルトレーニング論, スポーツ心理学演習, 演習・卒業論文(人間開発学部)

【 職・氏名 】	教授 太田 直之 (OTA Naoyuki)
【 学 位 】	博士(歴史学) (2006年03月, 國學院大學, 文甲第83号)
【本学就任年月日】	2006年04月01日
【 略 歴 】	立命館大学 文学部 卒業 國學院大學 大学院文学研究科日本史学専攻 博士前期課程 修了 國學院大學 大学院文学研究科日本史学専攻 博士後期課程 修了
【 研究分野 】	日本中世史
【 所属学会 】	国史学会, 日本歴史学会, 日本史研究会, 神道宗教学会, 日本古文書学会
【学外委員等活動】	[過去5年間]なし
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	『万人講縁起』の成立:兵庫県豊岡市城崎町温泉寺蔵『万人講衆縁起之事』を基軸として	国史学	243	1～37	国史学会	2024年12月
論文	単著	日本古代における教断ち行の受容と変容	國學院雑誌	122, 11	185～ 205	國學院大學	2021年11月01日
Misc	単著	中世の三嶋信仰と武家	三嶋の神のモノガタリ: 焼き出された伊豆の島々: 伊豆半島ユネスコ世界ジオパーク認定5周年: 特別展			國學院大學博物館	2023年09月01日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	祓の季節—夏の年中行事の起源と歴史—	台東区文化財報告書第59集 台東区の祭礼と行事		63～ 72, 10	東京都台東区教育委員会	2018年03月20日
論文	単著	お札利用の具体像 近世の説話・随筆を素材として	神道宗教	237	25～ 61, 36	神道宗教学会	2015年01月25日
論文	単著	中世の神社と勸進	神道宗教	228	25～ 36, 12	神道宗教学会	2012年10月25日
論文	単著	中世後期の勸進聖と地域社会—高野山寂靜院増進上人の活動を事例として—	『民衆史研究』	77		民衆史研究会	2009年05月23日
著書等出版物	単著	『中世の社寺と信仰—勸進と勸進聖の時代』			407	弘文堂	2008年05月20日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(B)	拓本調査を基盤とする日本金石文の情報資源化と歴史叙述への応用的研究	日本学術振興会	菊池大樹	23320134	17810000	2011年04月01日～ 2015年03月31日

担当授業科目	
2024年度: 日本の伝統文化【金曜日オンデマンド型授業】、神道と文化、伝統文化と生活論I、日本の伝統文化【火曜日オンデマンド型授業】、演習(人間開発学部)、日本の伝統文化【木曜日オンデマンド型授業】、演習・卒業論文(人間開発学部)	

【 職・氏名 】	教授 大矢 隆二 (OYA Ryuji)
【 学位 】	博士(教育学) (2017年09月30日,静岡大学,教博甲第7号)
【本学就任年月日】	2020年04月01日
【 略 歴 】	東海大学 体育学部体育学科 卒業 常葉学園大学 大学院国際言語文化研究科国際教育専攻修士課程 修了 愛知教育大学大学院・静岡大学大学院 教育学研究科 共同教科開発学専攻博士課程 満期退学
【 研究分野 】	小学校体育; 中学・高校保健体育; 子ども体力支援
【 所属学会 】	日本体育科教育学会, 日本学校教育学会, 日本教科教育学会, 日本体育・スポーツ・健康学会
【学外委員等活動】	〔過去5年間〕 日本学校教育学会編集委員会
【 受賞歴等 】	財団法人静岡県教育公務員弘済会 平成20年度教育実践論文集「優良賞」受賞

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ~終了ページ,ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	「省察」の質的な深まりに着目した教員養成課程の模擬授業に関する研究(Ⅲ)ー「体育科教育法」と「保健体育科教育」の授業を比較してー	常葉大学教育学部紀要	42	111~126, 16	常葉大学	2022年03月31日
論文	共著	日本における伝統文化に関わる保健体育科教育:アジア圏の伝統文化教育を契機に	常葉大学教育学部紀要	41	181~200	常葉大学	2021年03月31日
論文	共著	「省察」の質的な深まりに着目した教員養成課程の模擬授業に関する研究(Ⅰ):保健体育科教育の授業を対象として	常葉大学教育学部紀要	41	157~180	常葉大学	2021年03月31日
論文	共著	「省察」の質的な深まりに着目した教員養成課程の模擬授業に関する研究(Ⅱ):体育科教育法の授業を対象として	國學院大學人間開発学研究	12	47~60	國學院大學	2021年03月31日
著書等出版物	共著	たのしい体育1年~6年				大日本図書株式会社	2023年04月01日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ~終了ページ,ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	GPS測定による移動軌跡から得られる幼稚園児の活動の特徴	國學院大學人間開発学研究	13	33~45	國學院大學	2022年02月28日
論文	共著	中学校運動部活動の効果的指導の取り組みに関する研究:教員と外部顧問へのインタビュー調査をもとに(Ⅱ)	常葉大学教育学部紀要	40	97~106	常葉大学	2020年03月20日
論文	共著	GPS測定による移動軌跡から得られる幼稚園児の活動の特徴	國學院大學人間開発学研究	13	33~45	國學院大學	2022年02月28日
論文	単著	体育授業における投動作学習を通じた心理的循環モデルの作成:知識および技能習得場面のつまずきに着目して	学校教育研究	33	118~129	学校教育研究	2018年08月01日
著書等出版物	共編著	令和3年度中学校保健体育				大日本図書	2021年03月22日
著書等出版物	分担執筆	スポーツ・体育と健康科学テキスト				三恵社	2015年03月01日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
競争的資金	学内共同研究	部活動における外部顧問との連携に関する質的研究	常葉大学	大矢隆二		160000	2018年06月~2019年03月
科研費	基盤研究(C)	中学生の投能力改善のための学習プログラム開発と成果の検証	日本学術振興会	大矢隆二	15K01537	4810000	2015年04月01日~2018年03月31日
科研費	基盤研究(C)	小学校体育科教育における投力向上の教材開発	日本学術振興会	大矢隆二	24531218	5330000	2012年04月01日~2015年03月31日

担当授業科目

2024年度: 教職実践演習, 体づくり運動, 演習・卒業論文(人間開発学部), 体育概説, 体育科教育法I, 体育科教育法II, 演習(人間開発学部)

【 職・氏名 】	教授 川田 裕樹 (KAWATA Yuki)
【 学 位 】	修士(教育学)
【 本学就任年月日 】	2015年04月01日
【 略 歴 】	天理大学 体育学部体育学科 卒業 三重大学 教育学研究科教科教育専攻 修了 名古屋大学 大学院医学系研究科健康社会医学専攻 満期退学
【 研究分野 】	発育発達、運動生理・生化学、栄養学、運動処方、健康教育学
【 所属学会 】	日本運動疫学会, 日本健康教育学会, 日本肥満学会, 日本体力医学会, 日本運動生理学会, 日本体育学会(専門分科会:保健), 日本発育発達学会
【 学外委員等活動 】	[過去5年間] 東京都港区教育委員会 保健主任会 講師, あいち健康の森健康科学総合センター 学童期から思春期の健康づくり・生活習慣病予防研修 講師

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ~終了ページ,ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
著書等出版物 講演・発表 講演・発表 講演・発表	共著	The Association of Body Image Self-Discrepancy With Female Gender, Calorie-Restricted Diet, and Psychological Symptoms Among Healthy Junior High School Students in Japan	Frontiers in Psychology		1~8	Frontiers in Psychology	2021年10月05日
	共著	『スポーツ健康科学』			231(88~105)	株式会社みらい	2022年08月20日
	共同	妊娠期における母体への温熱刺激が子の出生後の体組成および血糖値に及ぼす影響	第78回 日本体力医学会大会			日本体力医学会	2024年09月02日
	共同	骨格筋における水分量の減少がエネルギー代謝に及ぼす影響	第31回 日本運動生理学会			日本運動生理学会	2023年08月23日
講演・発表	共同	肥満小児とその保護者に対する生活習慣改善支援策	第41回日本肥満学会・第38回日本肥満症治療学会学術集会(合同シンポジウム5 肥満症治療の多様なアプローチ~若手研究者の新たな発想~)			日本肥満学会	2021年03月21日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ~終了ページ,ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	地域の子どもと保護者を対象とした健康増進のための望ましい教育的活動プログラムの検討ー子どもの運動・身体活動に着目した健康教室の実践をもとにー	國學院大學人間開発学研究		121~132	國學院大學	2020年02月01日
論文	共著	Combined effect of short-term calorie restriction and exercise on insulin action in normal rats	Horm Metab Res.	42(13)	950~ 954	Georg Thieme Verlag KG	2010年10月01日
論文	共著	A high-fructose diet impairs Akt and PKCζ phosphorylation, and GLUT-4 translocation in skeletal muscle	Horm Metab Res.	40(8)	528~ 532	Georg Thieme Verlag KG	2008年08月01日
論文	共著	Effects of continuous low-carbohydrate diet after long-term exercise on GLUT-4 protein content in rat skeletal muscle	Horm Metab Res.	40(1)	24~ 28	Georg Thieme Verlag KG	2008年01月01日
論文	共著	肥満小児に対する食事療法と運動療法を主体とした減量が血中グレン濃度に及ぼす影響	体力科学	56巻4号	419~ 428	日本体力医学会	2007年08月01日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	妊娠期における母体への温熱刺激が子の出生後のエネルギー代謝に及ぼす影響	日本学術振興会	川田裕樹	24K14430	4550000	2024年04月01日~2027年03月31日
科研費	若手研究(B)	肥満小児と保護者の協調行動を重視した生活習慣改善支援プログラムの検討と開発	日本学術振興会	川田裕樹	17K13251	3900000	2017年04月01日~2023年03月31日
科研費	若手研究(B)	子どもと保護者の生活習慣と嗜好性・認識における親子関係	日本学術振興会	川田裕樹	23700811	3900000	2011年04月28日~2013年03月31日

担当授業科目

2024年度: 発育発達論, 学校保健, 導入基礎演習, 教育実習IA(事前指導), 保健科教育法, 演習(人間開発学部), 専門基礎演習, 教育実習II(参観実習)(中・高), 教育実習IB(事後指導), 教育実習III(教壇実習)(中・高), 教育実習II(参観実習)(幼・小), 教育実習II(参観実習)(小)

【 職・氏名 】	准教授 小林 唯 (KOBAYASHI Yui)
【 学 位 】	修士(家政学)
【本学就任年月日】	2016年04月01日
【 略 歴 】	東京家政大学 家政学部 栄養学科 卒業 東京家政大学 家政学研究科 食物栄養学専攻 修了 東京家政大学 家政学研究科 人間生活学専攻 満期退学
【 研究分野 】	栄養学、スポーツ栄養学
【 所属学会 】	日本スポーツ栄養学会, 日本体力医学会, 日本体育学会
【学外委員等活動】	[過去5年間]一般社団法人関東大学バスケットボール連盟 理事, 医科学部副部長, 緑窓栄養士会 監事, 関東大学バスケットボール連盟 強化部トレーナー部会 , バスケットボール男子ナショナルチームにおいて管理栄養士として栄養指導に携わる
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	Influence of AMY1 gene copy number on salivary amylase activity changes induced by exercise in young adults	Physiological Reports	12, 20	e7099 (0-9)	The Physiological Society	2024年10月25日
論文	単著	高校ラグビー選手を対象とした身体組成および骨指標の検討	國學院大學人間開発学研究	十四	1～ 10, 10	國學院大學人間開発学会・國學院大學人間開発学部	2023年02月28日
論文	共著	中高齢者における骨密度と体組成および栄養摂取量の関連と性差の特徴	國學院大學人間開発学研究	十四	33～ 44, 12	國學院大學人間開発学会・國學院大學人間開発学部	2023年02月28日
講演・発表	共同	本邦プロバスケットボール選手の大学在籍時における体格およびスプリント能力の特徴 —15年間のフィジカル測定データによる観察研究—	第10回日本アスレティックトレーニング学会学術大会			一般社団法人 日本アスレティックトレーニング学会	2021年10月09日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
講演・発表	共同	アミラーゼ遺伝子のコピー数が2.25 インターバルトレーニング負荷時の唾液アミラーゼ活性に及ぼす影響	第71回日本体力医学会大会			日本体力医学会	2016年09月23日
講演・発表	共同	「睡眠時の心拍スペクトルパターンの解析」				日本生理人類学会	2004年06月01日
その他	共同	栄養とアスレティックパフォーマンス	ニューダイエツセラピー 日本臨床栄養協会誌	Vol.33, No1別冊	25～ 27	日本臨床栄養協会	2017年06月01日
その他	共同	NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識第2版			117～136 529～562	特定非営利活動法人NSCAジャパン	2013年03月01日
その他	共	「世界で戦うためのフィジカルフィットネス」	月刊バスケットボールトネス			日本文化出版株式会社	2008年06月01日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	エクオールが閉経後女性の骨格筋量および筋機能とそのトレーニング効果に及ぼす影響	日本学術振興会	林 貢一郎	23K10594	4680000	2023年04月01日～2026年03月31日
科研費	基盤研究(C)	大豆イソフラボン代謝産物エクオールが運動による動脈硬化改善効果に及ぼす影響	日本学術振興会	林 貢一郎	20K11341	4290000	2020年04月01日～2023年03月31日
科研費	若手研究	アスリートのための客観的コンディショニング評価システムの構築	日本学術振興会	小林 唯	19K20046	2340000	2019年04月01日～2021年03月31日

担当授業科目

2024年度:スポーツ栄養学演習, 演習(人間開発学部), 専門基礎演習, 食育論, 導入基礎演習, スポーツ科学論, 演習・卒業論文(人間開発学部), スポーツ栄養学, 栄養学

【 職・氏名 】	准教授 神事 努 (JINJI Tsutomu)
【 学 位 】	博士(体育学) (2011年09月,中京大学,乙第44号)
【本学就任年月日】	2015年04月01日
【 略 歴 】	中京大学 体育学部 体育学科 卒業 中京大学大学院 体育学研究科 修了 中京大学大学院 体育学研究科 退学
【 研究分野 】	バイオメカニクス
【 所属学会 】	日本バイオメカニクス学会, 日本体育学会, 日本バイオメカニクス学会, International society of biomechanics in sports (ISBS), 日本野球科学研究会
【学外委員等活動】	[過去5年間] 日本野球学会 理事, 一般社団法人全日本野球連盟医科学部会, 公益財団法人日本野球連盟アスリート委員会, 秋田県教育庁保健体育課 秋田型高校野球育成強化プロジェクト委員
【 受賞歴等 】	秩父宮記念スポーツ医・科学賞奨励賞(2009年06月01日), 日本バイオメカニクス学会優秀論文賞(2008年09月01日), 第55回東海体育学会奨励賞受賞(2007年11月01日), 第18回日本バイオメカニクス学会奨励賞(2004年09月01日)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	野球のピッチング動作における地面反力の役割	体育の科学	74, 12	815～ 820	杏林書院	2024年12月01日
論文	共著	野球の投球における粘着物質の影響とトレーニングによる即時効果	シンポジウム: スポーツ・アンド・ヒューマン・ダイナミクス講演論文集	2024		一般社団法人 日本機械学会	2024年11月15日
論文	共著	Factors of individual differences between the speeds of the hand and ball during baseball pitching: Assessment of middle finger function based on the hierarchical linear model	Journal of Sports Sciences	42, 23	2216～ 2228	Taylor and Francis	2024年11月14日
論文	共著	Accuracy and Error Trends of Commercially Available Bat Swing Sensors in Baseball	Sports	10, 2		Sports	2022年02月06日
論文	共著	Consistent Hand Dynamics Are Achieved by Controlling Variabilities Among Joint Movements During Fastball Pitching.	Front Sports Act Living	2		Frontiers in Sports and Active Living	2020年11月17日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	空間上の打撃ポイントの違いがバットのスイング特性に及ぼす影響	体育学研究	64, 2	463～ 474	一般社団法人 日本体育学会	2019年12月16日
論文	共著	Middle finger and ball movements around ball release during baseball fastball pitching	Sports Biomechanics	17, 2	180～ 191	International society of biomechanics in Sports	2018年01月17日
論文	共著	Factors Determining the Spin Axis of a Pitched Fastball in Baseball	Journal of Sports Sciences	29, 7	761～ 767	Taylor and Francis	2011年04月01日
論文	共著	オーバーハンド投げにおけるボールリリース前後の前腕と手関節の運動に関する研究	東海保健体育科学	30	19～ 32	東海体育学会	2008年12月01日
論文	共著	Direction of Spin Axis and Spin Rate of the Pitched baseball	Sports Biomechanics	5, 2	197～ 214	International society of biomechanics in Sports	2006年07月01日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	投球フォームの個人特性を考慮した上限投球数決定法の開発	日本学術振興会	神事 努	22K11478	4030000	2022年04月01日～2025年03月31日
科研費	基盤研究(C)	セイバーマトリクスによる野球投手の評価指標のバイオメカニクスの検証	日本学術振興会	神事 努	15K01566	4810000	2015年04月01日～2018年03月31日
科研費	若手研究(B)	投球におけるスナップ動作のメカニズム解明とその役割の同定	日本学術振興会	神事 努	24700692	4030000	2012年04月01日～2014年03月31日

担当授業科目

2024年度: 演習・卒業論文(人間開発学部), バイオメカニクス, 専門基礎演習, スポーツバイオメカニクス演習, 演習(人間開発学部), 球技ベースボール型

【 職・氏名 】	准教授 千野 謙太郎 (CHINO Kentaro)
【 学 位 】	博士(学術) (2007年02月28日, 東京大学大学院, 博総合702号)
【本学就任年月日】	2019年04月01日
【 略 歴 】	東京理科大学 理学部第I部化学科 卒業 東京大学 大学院総合文化研究科広域科学専攻修士課程 修了 東京大学 大学院総合文化研究科広域科学専攻博士課程 満期退学
【 研究分野 】	トレーニング科学, 運動生理学, バイオメカニクス
【 所属学会 】	日本トレーニング指導者協会, NSCAジャパン, 日本トレーニング科学会
【学外委員等活動】	[過去5年間] 一般社団法人スポーツおきなわ パフォーマンスサイエンティスト
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	市民ランナーのマラソンに向けたペース戦略および栄養管理に関する測定・調査	國學院大學人間開発学研究	16	29～47	國學院大學人間開発学会	2025年02月01日
論文	共著	Association between expiratory mouth pressure and abdominal muscle activity in healthy young males	European Journal of Applied Physiology			Springer-Verlag	2024年03月01日
論文	共著	メニューの提供を受けた市民ランナーが実施したマラソントレーニング	國學院大學人間開発学研究	15	99～111	國學院大學人間開発学会	2024年02月28日
論文	共著	マラソン走走を目指す市民ランナーを対象とした競技サポート	國學院大學人間開発学研究	15	81～97	國學院大學人間開発学会	2024年02月28日
論文	共著	Verification of surface electromyographic activity of the oblique externus abdominis using ultrasound shear wave elastography	Physiological reports	10～9	e15295	American Physiological Society, Physiological Society	2022年04月18日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	東京箱根間往復大学駅伝競走の区間記録が往路・復路・総合記録に及ぼす影響	國學院大學人間開発学研究	12	21～31	國學院大學人間開発学会	2021年02月28日
論文	共著	大学女子バレーボール選手におけるスパイクジャンプ跳躍高とその決定因子の関係	國學院大學人間開発学研究	12	61～71	國學院大學人間開発学会	2021年02月28日
論文	共著	一流競技者の受動的な筋ステイフネス～長期間の日常的なトレーニングが筋の硬さに及ぼす影響～	トレーニング科学	32, 4	195～201	日本トレーニング科学会	2020年
論文	共著	Comparison of anthropometric characteristics between elite singles and doubles badminton players	Gazzetta Medica Italiana	178, 10	781～784	Internal Medicine and Pharmacology	2019年10月
論文	共著	Effect of toe dorsiflexion on the regional distribution of plantar fascia shear wave velocity	Clin Biomech (Bristol, Avon)	61	11～15	Osteopathic Association of Great Britain	2019年01月

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	エクオールが閉経後女性の骨格筋量および筋機能とそのトレーニング効果に及ぼす影響	日本学術振興会	林 貢一郎	23K10594	4680000	2023年04月01日～2026年03月31日
科研費	基盤研究(C)	筋の活動・活動様式を考慮した呼吸筋のウォーミングアップ・トレーニングに関する研究	日本学術振興会	千野 謙太郎	18K10880	4420000	2018年04月01日～2021年03月31日
科研費	若手研究(B)	超音波エラストグラフィを用いて測定した筋硬度に基づく筋のコンディション評価	日本学術振興会	千野 謙太郎	15K16500	3900000	2015年04月01日～2018年03月31日

担当授業科目

2024年度: 統計と測定評価, 演習(人間開発学部), スポーツ実技B, 健康運動実習, 体力トレーニング論, 演習・卒業論文(人間開発学部), 専門基礎演習, 運動生理学演習I(神経・筋系), 導入基礎演習, 健康運動実習

【 職・氏名 】	教授 富田 一誠 (TOMITA Kazunari)
【 学 位 】	博士(整形外科学) (2009年02月26日,昭和大学,乙第2633号)
【本学就任年月日】	2020年04月01日
【 略 歴 】	昭和大学 医学部 卒業
【 研究分野 】	整形外科学, スポーツ医学, 健康医学, 手肘関節外科
【 所属学会 】	日本スポーツ協会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本整形外科学スポーツ医学会, 日本手関節学会, 日本肘関節学会, 日本整形外科学会
【学外委員等活動】	(過去5年間) 国際野球ソフトボール連盟医事委員会委員、日本野球機構医事委員会委員長、全日本野球協会医科学部会アンチドーピング委員、日本野球協議会オペレーション委員会医科学部会会長、日本体操協会マルチサポート部会ドクター会委員、日本肘関節学会理事(学術委員会担当)、日本スポーツ整形外科学会代議員(ガイドライン委員会)、日本手外科学会代議員、東京スポーツ整形外科研究会顧問

【 受賞歴等 】	2005 BEST SCIENTIFIC CONTENT(Poster Exhibit Award) The Annual Meeting of the American Society for Surgery of the Hand 『High Definition” 3-D Imaging of Mechanoreceptors in Dorsal Radiocarpal Ligament of Human Wrist』 2006 Julian M. Bruner Award for BEST POSTER (Outstanding Poster Submission) The Annual Meeting of the American Society for Surgery of the Hand 『Nerve Ending Distribution in Human Radiocarpal Ligaments: A Fluorescent Immunohistochemical Study』 2006BEST SCIENTIFIC CONTENT(Poster Exhibit Award) The Annual Meeting of the American Society for Surgery of the Hand 『Nerve Ending Distribution in Human Radiocarpal Ligaments: A Fluorescent Immunohistochemical Study』 2009 第23回名倉賞 昭整会(昭和大学医学部整形外科同門会) 『Nerve endings in the human dorsal radiocarpal ligament』 2009年度 紫綬褒章(WBC日本代表チームとして)
----------	--

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ~終了ページ,ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	滑膜ひだによる弾発肘を肘関節後内側で認めた野球選手の2例	日本肘関節学会雑誌	31巻2号	206~210	日本肘関節学会	2024年
論文	共著	TFCC損傷と月状三角骨間靭帯損傷に着目した手関節尺側部痛の診断と手関節鏡視下手術	日本手外科学会雑誌	41巻2号	96~100	日本手外科学会	2024年11月1日
Misc	単著	【スポーツと感染症-今求められる対策と今後の課題-】プロスポーツと新型コロナウイルス感染症 プロスポーツと新型コロナウイルス感染症 野球	臨床スポーツ医学	38巻8号	880~885	文光堂	2021年8月1日
Misc	共著	TFCC損傷の診断と治療	日本手外科学会雑誌	38巻6号	819~828	日本手外科学会	2022年4月1日
Misc	共著	【変形性関節症の診断と治療-保存的治療から再生医療まで】(IV章)変形性肘関節症 変形性肘関節症に対する鏡視下関節形成術	整形外科	74巻6号	569~572	南江堂	2023年5月1日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ~終了ページ,ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	変形性肘関節症による肘関節拘縮に対する関節鏡視下関節形成術の年代別治療成績	日本肘関節学会雑誌	29, 2	296~300	日本肘関節学会	2022年12月1日
論文	単著	野球(特集 競技種目別医療に必要な知識:東京2020に備えて) -- (球技の医療に必要な知識)	臨床スポーツ医学	37, 4	445~ 447	文光堂	2020年04月
論文	共著	【鏡視下手術の進歩-小関節から脊椎まで】三角線維軟骨複合体損傷に対する関節鏡視下修復術の治療経験 関節鏡手術の適応と限界	別冊整形外科	77	151~154	南江堂	2020年4月1日
Misc	共著	【上肢のスポーツ外傷・障害Up to date】腱鞘炎	関節外科	41, 12	1395~1404	メジカルビュー社	2022年12月1日
Misc	共著	投球障害の保存療法とその限界 成長期投球障害予防に関する日本野球協議会の取り組み	日本臨床スポーツ医学会誌	28, 3	420~422	日本臨床スポーツ医学会	2020年8月1日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目

2024年度: 解剖生理学, 演習・卒業論文(人間開発学部), 救急法, 専門基礎演習, 健康管理論, スポーツ医学, 演習(人間開発学部), コンディショニング

【 職・氏名 】	教授 林 貢一郎 (HAYASHI Koichiro)
【 学 位 】	博士(体育科学) (2003年03月,筑波大学,博甲第3244号)
【本学就任年月日】	2010年04月01日
【 略 歴 】	川崎医療福祉大学 医療技術学部健康体育学科 卒業 筑波大学 大学院医科学研究科 修士課程 修了 筑波大学 大学院体育科学研究科 博士課程 修了
【 研究分野 】	運動生理学、健康科学、スポーツ医学
【 所属学会 】	American College of Sports Medicine, 日本体力医学会, 日本運動生理学会, 日本臨床スポーツ医学会準会員, 日本女性医学会
【学外委員等活動】	[過去5年間]横浜市泉区役所地域振興課 泉区スポーツセンター指定管理者選定委員会 選定委員, 横浜市鶴見区役所地域振興課 スポーツセンター指定管理者選定委員会 選定委員, 日本体力医学会評議員
【 受賞歴等 】	アワードⅢ(40歳以上優秀演題)(筆頭)(2014年07月20日), 大塚スポーツ・医科学賞 奨励賞(筆頭)(2013年09月22日), 優秀演題賞(筆頭)(2009年12月02日)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	Alcohol consumption after downhill running does not affect muscle recovery but prolongs pain perception in East Asian men	Physical Activity and Nutrition	28(4)	24～30	Korean Society for Exercise Nutrition	2024年11月15日
論文	共著	Comparison of low-intensity and high-intensity exercise in salivary nitric oxide response: a pilot study	Asian Journal of Sports Medicine	14(4)	e129312	Brieflands	2023年09月01日
論文	共著	Equal producing status affects exercise training-induced improvement in arterial compliance in postmenopausal women	J Appl Physiol (1985)	130(3)	827～ 835	American Physiological Society	2021年03月01日
著書等出版物	共著	健康づくりの新運動生理学			105～112	アイ・ケイ コーポレーション	2021年03月30日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	Effect of Improving Physical Conditions and Female Athlete Literacy Behaviors: Intervention Study	Translational Journal of the American College of Sports Medicine	4(20)	235～ 241	American College of Sports Medicine	2019年10月15日
論文	共著	Recovery from Strenuous Downhill Running in Young and Older Physically Active Adults	Int J Sports Med	40(11)	696～ 703	Thieme	2019年08月24日
論文	単著	女性ホルモンと血管機能と持久力. In 特集:運動時の循環調節の探索と新しい発見を知る.	体育の科学	68(9)	654～ 659	杏林書院	2018年09月01日
論文	共著	Effects of endothelin-related gene polymorphisms and aerobic exercise habit on age-related arterial stiffening: a 10-yr longitudinal study.	J Appl Physiol (1985)	124(2)	312～ 320	American physiological society	2018年04月01日
論文	単著	幼児における運動能力と運動に対する意識の関連性およびその性差	國學院大學人間開発学研究	9	11～21	國學院大學人間開発学会	2018年03月01日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	エクオールが閉経後女性の骨格筋量および筋機能とそのトレーニング効果に及ぼす影響	日本学術振興会	林 貢一郎	23K10594	4680000	2023年04月01日～2026年03月31日
科研費	基盤研究(C)	大豆イソフラボン代謝産物エクオールが運動による動脈硬化改善効果に及ぼす影響	日本学術振興会	林 貢一郎	20K11341	4290000	2020年04月01日～2023年03月31日
科研費	基盤研究(C)	新規エストロゲン受容体GPER遺伝子多型と動脈硬化の関連性	日本学術振興会	林 貢一郎	26350906	4810000	2014年04月01日～2017年03月31日

担当授業科目

2024年度: 女性のスポーツ科学, 運動生理学演習II(呼吸循環系), スポーツ科学論, 演習・卒業論文(人間開発学部), 演習(人間開発学部), 介護予防・健康づくり論, スポーツ施設演習, 運動処方論, 導入基礎演習, 運動生理学

【 職・氏名 】	教授 備前 嘉文 (BIZEN Yoshifumi)
【 学 位 】	博士(スポーツ科学) (2009年03月,早稲田大学,甲第4906号)
【本学就任年月日】	2016年04月01日
【 略 歴 】	関西学院大学 商学部 卒業 カリフォルニア州立大学ロングビーチ校 大学院修士課程 スポーツマネジメント専攻 修了 早稲田大学大学院 スポーツ科学研究科博士後期課程 修了
【 研究分野 】	スポーツマネジメント
【 所属学会 】	生涯スポーツ学会, 日本スポーツ産業学会, 日本スポーツマネジメント学会, 日本スポーツ人類学会
【学外委員等活動】	[過去5年間] 日本生涯スポーツ学会 編集委員会 委員, 日本スポーツマネジメント学会 運営委員・編集委員
【 受賞歴等 】	2020年度 学会奨励賞(2021年03月07日), 笹川スポーツ財団研究助成 2018年度優秀研究賞(2019年04月)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	The effect of athlete endorsement on employees' organizational identification: a case study utilizing an Olympic athlete.	International Journal of Sports Marketing and Sponsorship	25,5	1185～1202	Emerald Publishing Limited	2024年08月01日
論文	共著	Exploring the components of "Kando" and the factors evoking it during motorcycle riding	Transportation Research Interdisciplinary Perspectives	Volume 25	101～104	ELSEVIER	2024年05月02日
論文	共著	大学スポーツのイベントにおけるスポンサーシップの有効性: 出場校の関係者のスポンサーへの態度に及ぼす影響	スポーツマネジメント研究	16,1	43～56	日本スポーツマネジメント学会	2024年03月30日
論文	共著	都市型市民マラソンにおけるスポーツ消費者行動: コロナ禍でマラソン大会参加者はなぜ減ったのか?	同志社スポーツ健康科学	15,1	1～12	同志社大学スポーツ健康科学会	2023年06月20日
論文	共著	Understanding the relationships between motivation, constraints, and constraint negotiation in volunteer participation in a marathon event.	Journal of Leisure Research	53,5	728～747	National Recreation and Park Association	2022年06月21日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	A cross-cultural comparison of sports magazine covers between the United States and Japan	Asian Sport Management Review,	14	78～88	Asian Association for Sport Management	2020年01月
論文	共著	日本の大学におけるスポーツマネジメント教育の現状と課題: この10年で日本のスポーツマネジメント教育はどう変わったか	「スポーツマネジメント研究」	11,1	37～46	日本スポーツマネジメント学会	2019年12月15日
論文	共著	ブランド拡張におけるアスリートによるエンドースメントの有用性について	「スポーツマネジメント研究」	11,1	3～20	日本スポーツマネジメント学会	2019年12月15日
論文	共著	Consciousness of Spending on Children's Sports Activities in a Community Sports Club in Japan: Clarifying Parents' Internal Reference Price	International Journal of Asian Business and Information Management (IJABIM)	Volume 9, Issue 1			2018年01月01日
論文	共著	市民マラソンランナーが都市型市民マラソン大会への参加を検討するにあたり生じる構造的制約	生涯スポーツ学研究	13,2	1～14, 14	日本生涯スポーツ学会	2017年03月31日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	eスポーツにおけるプレイヤー視聴者間インタラクションの実証研究	日本学術振興会	柿原 正郎	24K15252	4160000	2024年04月01日～2027年03月31日
科研費	基盤研究(C)	スポーツツーリズム参加人口拡大にむけたスポーツツーリストの理解	日本学術振興会	備前 嘉文	18K10825	2470000	2018年04月01日～2021年03月31日

担当授業科目

2024年度: 演習・卒業論文(人間開発学部), スポーツ実技A, スマネジメント演習, スポーツマネジメント演習, スポーツクラブマネジメント論, スポーツビジネス論, 地域スポーツ概論, スポーツインターンシップ, 演習(人間開発学部)

【 職・氏名 】	教授 藤田 大誠 (FUJITA Hiromasa)
【 学 位 】	博士(神道学) (2007年03月, 國學院大學, 文甲第93号)
【 本学就任年月日 】	2007年04月01日
【 略 歴 】	國學院大學 法学部法律学科 卒業 國學院大學 大学院文学研究科神道学専攻博士課程後期 修了
【 研究分野 】	近代神道史、国学、日本教育史、体育・スポーツ史
【 所属学会 】	神道宗教学会、「宗教と社会」学会、明治維新史学会、神道史学会、日本宗教学会、日本歴史学会、明治聖徳記念学会、日本思想史学会、国史学会、日本近代仏教史研究会、大学史研究会、日本史研究会、教育史学会、國學院大學人間開発学会、軍事史学会、法制史学会、日本教育史学会、日本体育・スポーツ史学会、スポーツ史学会、日本スポーツ人類学会
【 学外委員等活動 】	〔過去5年間〕明治神宮国際神道文化研究所 客員研究員、神社本庁総合研究所 特別研究員、皇學館大学研究開発推進センター神道研究所(第一部門「神道思想」) 共同研究員、明治聖徳記念学会 評議員、企画・編集委員、政教関係を正す会 幹事、大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター 共同研究員、靖國神社「教学研究会」研究員(運営委員)、日本宗教学会 評議員、株式会社神社新報社 論説委員、神社本庁 教学委員、一般財団法人大阪国学院 通信教育部 講師
【 受賞歴等 】	平成29年度科学研究費助成事業審査委員表彰(2017年09月29日)、平成29年度國學院大學人間開発学会研究奨励賞(2018年10月20日)、平成20年度神道宗教学会賞(2008年12月06日)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ~終了ページ,ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	「明治神宮林苑と仁徳天皇陵の森をめぐる(語りの)再検討—造園学者・上原敏二と宮内省諸陵頭・山口銳之助の営為を軸として—」	『國學院大學研究開発推進センター研究紀要』	第19号	1~ 59, 59	國學院大學研究開発推進機構研究開発推進センター	2025年03月10日
論文	単著	「葦津珍彦の政教論研究序説—祭政一致を前提とした「政教分立」構想—」	『明治聖徳記念学会紀要』	復刊第62号	163~ 190, 28	明治聖徳記念学会	2024年11月03日
論文	単著	「『満洲国』スポーツ界と明治神宮大会」	高嶋航・佐々木浩雄編『満洲スポーツ史—帝国日本と東アジアスポーツ交流圏の形成—』		291~ 319, 29	青弓社	2024年01月23日
論文	単著	「近代国学と国史学—國學院大學の国史学科と国史学会—」	小澤実・佐藤雄基編『史学科の比較史—歴史学の制度化と近代日本—』		521~ 562, 41	勉誠出版	2022年05月30日
論文	単著	「超国家主義と宗教」	島藪進・末木文美士・大谷栄一・西村明編『近代日本宗教史 第四巻 戦争の時代—昭和初期~敗戦—』		203~ 232, 30	春秋社	2021年05月20日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ~終了ページ,ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	「『国家神道』概念の近現代史」	山口輝臣編『史学会シンポジウム叢書 戦後史のなかの「国家神道」』		5~ 42, 38	山川出版社	2018年10月10日
著書等出版物	編著	『国家神道と国体論—宗教とナショナリズムの学際的研究—』			568頁(i-viii、1-48、535-536頁)	弘文堂	2019年09月30日
著書等出版物	単著	『大阪国学院史—創立百三十五年・通信教育部開設四十年—』			360頁	一般財団法人大阪国学院	2017年06月27日
著書等出版物	共編著	『明治神宮以前・以後—近代神社をめぐる環境形成の構造転換—』			542頁(9-21、101-139、523-524頁)	鹿島出版会	2015年02月20日
著書等出版物	単著	『近代国学の研究』			500頁	弘文堂	2007年12月15日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	神道・国学の近現代史—通史叙述に向けた研究基盤の構築—	日本学術振興会	藤田大誠	24K03403	4550000	2024年04月01日~2029年03月31日
科研費	基盤研究(C)	日本の奉納競技の近代的展開に関する研究—神社・皇室とスポーツ文化との関係—	日本学術振興会	藤田大誠	21K11367	3250000	2021年04月01日~2024年03月31日
科研費	基盤研究(C)	国家神道と国体論に関する学際的研究—宗教とナショナリズムをめぐる「知」の再検討—	日本学術振興会	藤田大誠	15K02060	4550000	2015年10月21日~2018年03月31日

担当授業科目

2024年度: 派遣研究期間のため担当授業科目なし

【 職・氏名 】	准教授 町田 樹 (MACHIDA Tatsuki)
【 学 位 】	博士(スポーツ科学) (2020年03月15日,早稲田大学,第8331号)
【本学就任年月日】	2020年10月01日
【 略 歴 】	関西大学 文学部総合人文学科 卒業 早稲田大学 大学院スポーツ科学研究科スポーツビジネス専攻修士課程 修了 早稲田大学 大学院スポーツ科学研究科スポーツビジネス専攻博士後期課程 修了
【 研究分野 】	舞踊論, スポーツ社会学, 著作権法, 文化経済学, メディア論
【 所属学会 】	日本比較文学会, 美学会, 日本知財学会, 文化経済学会(日本), 舞踊学会, 日本体育・スポーツ・健康学会
【学外委員等活動】	[過去5年間]文化経済学会(日本) 第17期理事, 独立行政法人日本スポーツ振興センター 新博物館展示・運営に関する有識者懇談会委員
【 受賞歴等 】	令和5年度舞踊学会研究奨励賞(2024年12月07日), 第33回ミズノスポーツライター賞最優秀賞(2023年04月20日), 第16回(池田晶子記念)わたくし、つまりNobody賞(2023年03月29日), 第12回衛星放送協会オリジナル番組アワード文化・教養番組部門最優秀賞(2022年07月21日), 令和2年度日本知財学会優秀論文賞(2020年12月04日)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	スポーツをめぐる技術的進歩史観の転回	思想	1206	41～65, 25	岩波書店	2024年10月05日
論文	単著	コラボレーションの可能性と限界: ジョン・カーリーとワイラ・サーブのフィギュアスケート作品『アフター・オール』を事例として	比較文学	66	78～93, 16	日本比較文学会	2024年03月31日
論文	単著	フィギュアスケートと舞踊芸術の文化交渉史: ジョン・カーリーによる1970-80年代のコラボレーションの意義	舞踊學	46	11～23, 13	舞踊学会	2023年12月23日
著書等出版物	単著	若きアスリートへの手紙: (競技する身体)の哲学			485	山と溪谷社	2022年4月5日
著書等出版物	単著	アーティスティックスポーツ研究序説: フィギュアスケートを基軸とした創道と享受の文化論			413	白水社	2020年6月5日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	オリンピックとスポーツアーカイブ: IOCの国際統治機構に基づくスポーツ資料の保存と継承のための制度論	KEIO SFC JOURNAL	20, 1	66～87, 22	慶應SFC学会	2020年09月20日
論文	単著	著作権法によるアーティスティック・スポーツの保護の可能性: 振付を対象とした著作物性の画定をめぐる判断基準の検討	日本知財学会誌	16, 1	73～96, 24	日本知財学会	2019年06月01日
著書等出版物	共著	比較文学比較文化ハンドブック			274	東京大学出版会	2024年08月26日
著書等出版物	共著	スポーツ観戦を科学する: スポーツ文化のさらなる発展を目指して			(102-123; 196-211)	大修館書店	2024年08月10日
著書等出版物	監修	フィギュアスケートと音楽: さあ、氷上芸術の世界へ			(2～5, 14～30, 56～58, 76～79, 84～99, 108～111)	音楽之友社	2022年10月01日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤(B)	比較文学比較文化研究の理論再構築と一般知への還元に関する総合的アプローチ	日本学術振興会	今橋映子	21H00519	16120000	2021年04月01日～2025年03月31日
科研費	若手研究	ダンスとスポーツの領域横断的研究: 芸術的スポーツの史的記述と批評理論の構築	日本学術振興会	町田樹	21K12872	2990000	2021年04月01日～2025年03月31日
科研費		芸術的スポーツの著作権法による保護の妥当性に関する研究: 日・米のフィギュアスケートを中心に	笹川スポーツ財団	町田樹	奨励研究1-1	500000	2017年04月01日～2018年02月28日

担当授業科目

2024年度: ダンス, スポーツ文化演習, 専門基礎演習, 体育社会学, 演習(人間開発学部), 演習・卒業論文(人間開発学部), スポーツメディア論, スポーツ文化演習, 身体論

【 職・氏名 】	准教授 三田 沙織 (MITA Saori)
【 学 位 】	修士(教育学) (東京学芸大学)
【本学就任年月日】	2023年04月01日
【 略 歴 】	日本女子体育大学 体育学部スポーツ健康学科 卒業 東京学芸大学 大学院教育学研究科 博士前期課程 保健体育専攻 修了 筑波大学 人間総合科学研究科体育科学専攻 博士後期課程 単位取得満期退学
【 研究分野 】	体育科教育学
【 所属学会 】	日本体育・スポーツ健康学会, 日本スポーツ教育学会, 日本体育科教育学会, 体育授業研究会
【学外委員等活動】	[過去5年間] 一般社団法人日本スポーツ教育学会 広報委員, 体育授業研究会 研究委員
【 受賞歴等 】	琉球大学プロフェッサー・オブ・ザ・イヤー(2020年度) (2021年12月)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	共著	島嶼地域における子どもの体力・運動能力に関する調査研究—宮古島の年長児を対象とした握力・立ち幅跳びの測定及び保育者への聞き取り調査—	琉球大学教育学部紀要	101	93～102	琉球大学教育学部	2022年09月
論文	共著	体育授業における小学校高学年を対象としたボール運動指導に関する研究—児童による授業評価を手がかりとして—	琉球大学教育学部紀要	99	153～160	琉球大学教育学部	2021年09月
論文	共著	ICTを活用した体育授業における教員志望学生の授業力量(その1)—小学校体育に関する電子黒板を活用したマイクロティーチングの実践—	琉球大学教育学部紀要	99	173～188	琉球大学教育学部	2021年09月
論文	共著	体育授業における障がい者スポーツの教材価値に関する検討	琉球大学教職センター紀要	3	1～11	琉球大学教職センター	2021年03月
著書等出版物	共著	新・教職課程演習第22巻 教育実習・教職実践演習			62～69	協同出版株式会社	2021年07月

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	共著	小学校4年生を対象とした対人協働能力向上のための体育授業単元の効果の検討—物体を介した対人協働運動プログラムを用いて—	児童研究	97	21～29	日本児童学会	2018年09月
論文	共著	綱渡り遊びにおける動きの巧さの評価とバランス能力との関連についての研究—豊富な外遊び経験が動きの巧さを育む可能性の検討—	児童研究	96	49～50	日本児童学会	2017年08月
論文	共著	踏切時に振り上げ脚を大きく開く逆上がりの指導法についての研究	体操競技器械運動研究	25	129～131	日本体操競技・器械運動研究会	2017年03月
論文	共著	表現リズム遊び・リズムダンス・現代的なリズムのダンスにおける現状と課題—学習指導要領に導入されからの文献を対象に—	びわこ成蹊スポーツ大学研究紀要	13	35～48	びわこ成蹊スポーツ大学	2016年03月
論文	共著	綱渡り遊びの動きの巧さの評価とバランス能力との関連についての研究	児童研究	94	14～24	日本児童学会	2015年08月

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目

2024年度: 保健科教育法I, 教育実習II(参観実習)(中・高), 教育実習III(教壇実習)(中・高), 教育実習IA(事前指導), 教育実習IB(事後指導), 水泳・水中運動, 教職実践演習, 演習(人間開発学部), 演習・卒業論文(人間開発学部)

【 職・氏名 】	教授 山田 佳弘 (YAMADA Yoshihiro)
【 学 位 】	体育学修士
【本学就任年月日】	1989年04月01日
【 略 歴 】	東海大学 体育学部社会体育学科 卒業 東海大学 大学院体育学研究科 修了
【 研究分野 】	運動生理学、体育方法学(弓道)
【 所属学会 】	日本体力医学会, 日本体育・スポーツ・健康学会, 日本武道学会, 運動生理学会, 身体運動文化学会
【学外委員等活動】	日本武道学会評議委員
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
講演・発表	単独	静岡県立浜北西高等学校 DX先進地視察研修 講師	静岡県立浜北西高等学校 DX先進地視察研修			静岡県立浜北西高等学校	2024年08月26日
講演・発表	単独	2023年度 町田市弓道連盟 指導者講習会 講師	町田市弓道連盟			町田市弓道連盟	2023年12月23日
講演・発表	単独	神奈川総合高校弓道授業プログラム	神奈川総合高校			神奈川総合高校	2023年06月09日
その他		座談会「スポーツ文化と神道文化」	『神道文化』	第33号		一般財団法人神道文化会	2021年06月

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「大学授業における弓道の初心者一斉指導法の開発 - 矢束紐装着の実射による「会」形成の有効性 -」	『身体運動文化研究』	第14巻 第1号	47～59	身体運動文化学会	2009年09月30日
論文	共著	「弓道における初心者一斉指導の新しい試み」	『國學院大學スポーツ・身体文化研究室紀要』	第39巻	1～ 10, 60	國學院大學スポーツ・身体文化研究室	2007年03月01日
論文	共著	「長期練習が弓射動作中における呼吸様相に与える影響」(研究資料)	『身体運動文化研究』	第8巻 第1号	39～ 53, 56	身体運動文化学会	2001年03月01日
Misc	単著	「イギリス弓道界の活動状況と教育プログラムの現状と課題 - 学習を促進させるための教育プログラムの導入 -」	『國學院大學人間開発学研究』	第8巻	191～ 207, 17	國學院大學人間開発学会・國學院大學人間開発学部	2017年02月28日
著書等出版物	単著	判り易い弓道の初心者指導プログラムのための補助教材導入	『月刊「武道」』	578号	9	公益財団法人 日本武道館	2014年12月28日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	水泳の初心者に安心して呼吸方法を指導するための生理学的な裏付けとプログラム作成	日本学術振興会	原 英喜	9680124	1300000	1997年～1998年

担当授業科目

2024年度: 人間開発基礎論(人間力育成の人間学), 武道(弓道), 導入基礎演習, 運動技能未開発者の指導, 武道文化論, 教職実践演習, 武道と所作・礼法, 演習(人間開発学部), 演習・卒業論文(人間開発学部)

【 職・氏名 】	准教授 渡辺 啓太 (WATANABE Keita)
【 学位 】	修士(体育学) (2011年03月25日,筑波大学,修甲第二七〇二〇号)
【本学就任年月日】	2021年04月01日
【 略 歴 】	専修大学 ネットワーク情報学部ネットワーク情報学科 卒業 筑波大学 大学院人間総合科学研究科スポーツ健康システムマネジメント専攻 修士課程 修了
【 研究分野 】	スポーツ情報戦略、高度競技マネジメント
【 所属学会 】	日本スポーツアナリスト協会 代表理事, 日本バレーボール学会, 情報処理学会, 日本スポーツパフォーマンス学会, 日本体育・スポーツ・健康学会
【学外委員等活動】	[過去5年間]公益財団法人日本オリンピック委員会 サービスマネージャー(JOC Top Sports Database リーダー), 公益財団法人日本オリンピック委員会 TEAM JAPANハイパフォーマンスプロジェクト, 公益財団法人日本オリンピック委員会 選手強化本部中長期戦略プロジェクト データ&テクノロジーワーキンググループメンバー, 公益財団法人日本オリンピック委員会 情報・医・科学専門部会 情報・科学サポート部門員, 公益財団法人日本バレーボール協会 ハイパフォーマンスサポート委員会情報戦略ユニットメンバー, 公益財団法人日本バレーボール協会 アスリート委員会 主事, RX Japan株式会社 (旧社名: リード エグジビション ジャパン) Japan Sports Week (スポーツビジネス産業展) アドバイザリーコミッティー委員, 第33回オリンピック競技大会(2024/パリ) TEAM JAPAN 選手団本部(情報・科学スタッフ) 兼 バレーボール女子日本代表チーム チームリーダー, バレーボール女子日本代表チーム チームマネージャー兼戦略コーディネーター, バレーボール女子日本代表チーム 監督付特命戦略コーディネーター, 公益財団法人日本オリンピック委員会 パリ2024対策プロジェクト プロジェクトメンバー, バレーボール女子日本代表チーム 監督付特命情報戦略ディレクター, スポーツ庁「新しい生活様式を踏まえた障害者スポーツの在り方等に係る調査」における検討委員会委員, 経済産業省 経済産業省委託事業「未来の教室」事業における教材開発アドバイザー, 第32回オリンピック競技大会(2020/東京) バレーボール女子日本代表チーム チームリーダー
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	サイドアウト率とブレイク率による勝率の予測 南部勝率:バレーボール版ピタゴラス勝率の導入の試み	バレーボール研究 = Journal of volleyball sciences		8~13	日本バレーボール学会	2023年07月
論文	共著	スポーツ現場における国内情報戦略専門スタッフの実態調査	スポーツパフォーマンス研究	2023年15巻	69~82	日本スポーツパフォーマンス学会	2023年04月03日
論文	共著	得失点とサーブ権によるバレーボールの勝利確率の推定	バレーボール研究 = Journal of volleyball sciences	22,1	45~48	日本バレーボール学会	2020年06月
講演・発表	単独	バレーボール競技におけるオリンピック出場国決定プロセスの変遷に関する一考察	日本バレーボール学会第27回大会			日本バレーボール学会	2022年03月06日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
講演・発表	単独	マーケティングツールを活用したオリンピック日本代表選手団内の情報システムの構築	情報処理学会第87回全国大会			情報処理学会	2025年3月15日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目

2024年度: 専門基礎演習, 演習・卒業論文(人間開発学部), 演習(人間開発学部), 球技ネット型 I, ICTの活用, スポーツアナリティクス, スポーツアナリティクス演習

【 職・氏名 】	教授 青木 康太朗 (AOKI Kotaro)
【 学 位 】	修士(スポーツ科学) (2002年03月15日,大阪体育大学大学院,第89号)
【本学就任年月日】	2019年04月01日
【 略 歴 】	桃山学院大学 社会学部社会学科 卒業 大阪体育大学 大学院スポーツ科学研究科スポーツ社会科学専修 修了
【 研究分野 】	青少年教育, 野外教育, 体験活動, リスクマネジメント, レクリエーション
【 所属学会 】	日本乳幼児教育・保育者養成学会, 日本保育学会, 日本安全教育学会, 日本レジャー・レクリエーション学会, 日本生涯教育学会, 日本野外教育学会
【学外委員等活動】	[過去5年間] 文部科学省 生涯学習調査官, 公益社団法人日本キャンプ協会 理事, 独立行政法人国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター 客員研究員, 公益財団法人日本アウトワード・バウンド協会 安全委員会委員, 日本野外教育学会 理事, 体験の風をおこそう運動推進委員会 監事, 日本生涯教育学会 常任理事

【 受賞歴等 】

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	コロナ禍における青少年教育業界の今とこれから～ニューノーマル時代にむけての一步を考える～	社会教育	第76巻 2月号	8～14	一般財団法人日本青年館	2021年02月
論文	共著	青少年教育施設における危険度の高い活動・生活行動の現況と安全対策に関する一考察	キャンプ研究第24巻		25～36	日本キャンプ協会	2021年01月15日
講演・発表	単独	地域づくりの担い手育成に向けた行政と地域住民の連携・協働	令和2年度上川管内社会教育・社会体育実践研究セミナー			上川管内社会教育主事会	2021年03月05日
講演・発表	単独	地域の未来を担う自己肯定感・自己有用感の高い若年層の育成	令和2年度地域生涯学習活動実践セミナー			北海道立生涯学習推進センター	2021年02月18日
講演・発表	単独	コロナ禍における青少年教育の現状と課題	日本生涯教育学会第41回大会 生涯学習政策研究フォーラム			日本生涯教育学会	2020年11月14日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	青少年教育施設で発生した冬期の傷病に関する調査報告	キャンプ研究	第22巻	25～36	日本キャンプ協会	2019年02月
論文	共著	キャンプにおける安全教育が参加者の危険認知能力の向上に及ぼす効果に関する研究	キャンプ研究	第19巻	21～28	日本キャンプ協会	2016年02月25日
Misc	共著	スノーゲームの身体的・心理的効果に関する研究 II—小学生を対象とした調査の結果から—	北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センター年報	8	1～9	北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センター	2018年03月31日
Misc	単著	自己肯定感を高くむ子頃の体験(特集 自己肯定感を高める教育の在り方)	教育創造	34, 93	11～13	日本教育文化研究所	2017年10月
Misc	共著	雪を使った外遊びプログラム「スノーゲーム」の開発	北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センター年報	6	73～78	北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センター	2015年

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	自然体験活動におけるリスクマネジメントモデルの構築に関する研究	日本学術振興会	青木康太朗	22K11684	4290000	2022年04月01日～2026年03月31日
科研費	基盤研究(C)	自然体験活動における事故や傷病、ヒヤリハットの発生要因と安全対策に関する研究	日本学術振興会	青木康太朗	17K01639	4160000	2017年04月01日～2023年03月31日
科研費	若手研究(B)	自然体験活動における安全管理能力のトレーニングシステムの開発	日本学術振興会	青木康太朗	26750248	1690000	2014年04月01日～2016年03月31日

担当授業科目

2024年度: 導入基礎演習, 保育実習III(施設), 演習(人間開発学部), 子どもと自然体験活動, 初等科教育法(体育), 演習・卒業論文(人間開発学部), 幼児と健康, 幼児と環境, 保育実習I(施設), 野外活動実習, 保育実習I(保育所)

【 職・氏名 】	教授 塩谷 香 (SHIOYA Kaori)
【 学 位 】	修士(児童学)
【本学就任年月日】	2016年04月01日
【 略 歴 】	大妻女子大学 家政学部 児童学科 卒業 聖徳大学大学院 児童学研究科児童学専攻 修了
【 研究分野 】	保育学(特に乳児保育、子育て支援)
【 所属学会 】	日本保育学会, 日本乳幼児教育学会, 日本子ども家庭福祉学会
【学外委員等活動】	[過去5年間]東京都豊島区 豊島区子ども子育て会議委員(委員長), NPO法人「びあわらべ」理事
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	円滑な保育に必要なコミュニケーション	保育と保健	第28巻 第1号	96～97	日本保育保険協 会	2022年01月
論文	単著	魅力ある職場づくりを考える～保育 の質と職員集団のあり方～	保育士会だより	第303 号	7～9	全国保育士会	2021年07月01日
論文	単著	人材確保・定着に向けた魅力ある 職場づくり	ぜんほきょう	第337 号	2～ 4, 3	全国社会福祉協 会	2021年05月01日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	風通しの良い職場にするために	保育の友第66巻6月 号	第66巻 6月号	9～13	全国社会福祉協 会	2018年06月01日
論文	単著	保護者家庭支援の目指すもの	全国国公立幼稚園・ こども園長会編幼児 教育じほう	通巻第 43巻第 5号	5～11	全国国公立幼稚園・ こども園長会	2015年08月01日
著書等出版物	編著	乳児保育 I・II 新基本保育シリーズ			378(70～ 78,120～ 130,144～ 152,154～164)	中央法規	2019年03月01日
著書等出版物	共著	平成30年改訂 幼稚園保育所認定こども園「要録」 記入ハンドブック			168(10～20,42 ～47)	ぎょうせい	2018年10月31日
著書等出版物	単著	『保育者のコミュニケーションスキル』			128	少年写真新聞社	2015年10月01日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目

2024年度: 保育実習指導IA, 保育実習指導IB, 演習(人間開発学部), 導入基礎演習, 保育実習I(保育所), 保育実習I(施設), 保育実習II(保育所), 乳児保育I, 乳児保育II, 保育実習指導II(事前指導), 保育実習指導II(事後指導), 子ども支援論, 演習・卒業論文(人間開発学部)

【 職・氏名 】	教授 島田 由紀子 (SHIMADA Yukiko)
【 学 位 】	博士(ヒューマン・ケア科学) (2020年03月25日,筑波大学,甲第9579号)
【本学就任年月日】	2018年04月01日
【 略 歴 】	女子美術大学 芸術学部造形学専攻 卒業 上越教育大学 大学院学校教育研究科 教科領域専攻 修了 筑波大学 大学院人間総合科学研究科 ヒューマン・ケア科学専攻 修了
【 研究分野 】	子どもの表現、美術教育、保育者養成
【 所属学会 】	日本色彩学会, 日本デザイン学会, 日本美術教育連合, 美術科教育学会, 日本保育学会, 保育教諭養成課程研究会, 日本色彩教育研究会, 日本小児内分泌学会, 日本乳幼児教育・保育者養成学会
【学外委員等活動】	[過去5年間]こども家庭庁 保育所長・主任保育士研修等の実施及び普及・啓発一式に関する技術審査委員, 豊島区子ども・子育て専門委員会, 豊島区 第6期豊島区子ども・子育て会議委員, 一般社団法人 日本乳幼児教育・保育者養成学会 理事, 豊島区 第5期豊島区子ども・子育て会議委員, 保育教諭養成課程研究会 理事, 日本色彩教育研究会 理事, 市川市教育委員会
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	子どもの造形表現と保育者のジェンダー意識	乳幼児教育・保育者養成研究	第5号	87～95	日本乳幼児教育・保育者養成研究	2025年03月31日
論文	共著	Machine learning trial to detect sex differences in simple sticker arts of 1606 preschool children	Minerva Pediatrics	76(3)	343～349	EDIZIONI MINERVA MEDICA	2024年06月01日
論文	共著	幼稚園の子育て支援としての2歳児保育を利用する保護者のニーズ	乳幼児教育・保育者養成研究	4	3～12	日本乳幼児教育・保育者養成学会	2024年03月31日
論文	共著	Variations in Gender Identity and Sexual Orientation of University Students	eCollection	11(5)	1～7	Sexual Medicine	2023年11月11日
論文	共著	現職保育者のための表現に関する研修の実態調査	実践人間学	第12号	54～63	実践人間学研究会	2022年01月31日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
著書等出版物	共編著	子どもと表現			7～12,30～34,95～97	中央法規	2025年2月
著書等出版物	共編著	ICT×保育を考える 保育内容総論			74～77	建帛社	2024年4月
著書等出版物	共著	保育内容 表現[新版](新保育ライブラリ)			17～25,94～102	北大路書房	2024年1月
著書等出版物	共編著	0～6歳児「創造性を豊かにする」保育			40～41,44～45,104～105,118～119,122～133	東洋館出版	2023年3月
著書等出版物	共編著	保育内容 表現			1～9,46,83～91,102	建帛社	2019年4月

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	保育者養成課程における即興表現を活かしたインクルーシブな表現教育プログラムの開発	日本学術振興会	駒久美子	22K02377	300000(4160000)	2022年04月01日～2026年03月31日
研究助成		インクルーシブ社会の実現のための「性」の揺らぎの解明	キャンノン財団	深見真紀		3000000(30000000)	2023年04月01日～2026年03月31日
研究助成		ヒトのこころの性の多様性とその修飾因子の解明	三菱財団	深見真紀		3000000(10000000)	2019年10月01日～2020年09月30日

担当授業科目

2024年度: 幼児と表現, 保育内容(表現), 保育実習指導II(事前指導), 色彩とデザイン, 演習(人間開発学部), 保育実習指導IA, 演習・卒業論文(人間開発学部), 保育実習指導IB, 保育実習I(保育所), 保育実習I(施設), 保育実習II(保育所), 保育実習指導II(事後指導)

【 職・氏名 】	教授 鈴木 みゆき (SUZUKI Miyuki)
【 学 位 】	博士(医学) (2005年12月21日, 東邦大学, 乙第2544号)
【本学就任年月日】	2021年04月01日
【 略 歴 】	お茶の水女子大学 家政学部児童学科 卒業 お茶の水女子大学 大学院家政学研究科児童学専攻修士課程 修了 国際鍼灸理療学校 本科 退学
【 研究分野 】	保育学、睡眠学
【 所属学会 】	日本保育学会、日本睡眠学会、日本小児保健協会
【学外委員等活動】	[過去5年間]こども家庭庁 子ども・子育て等支援分科会 会長, こども家庭庁 こども家庭審議会委員, 文部科学省 今後の幼児教育の教育課程、指導、評価等在り方に関する有識者検討会委員, 独立行政法人 教職員支援機構 評議員会 会長, 厚生労働省 保育士課程等検討委員会, 内閣府 子ども・子育て会議, 文部科学省 幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会, 渋谷区教育委員会 渋谷区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価実施要綱]第四条に規定する学識経験者, 市川市教育委員会 教育委員, 日本保育学会、日本睡眠学会、日本小児保健協会、日本睡眠学会評議員
【 受賞歴等 】	ベストレクチャー賞(2016年01月05日), ベストレクチャー賞(2014年01月06日), 「優れた早寝早起き朝ごはん運動推進にかかわる文部科学大臣表彰」受賞(2013年03月07日)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	幼保連携型認定こども園における午睡の実態に関する全国調査(第一報)	睡眠と環境	18,1	9～16	日本睡眠環境学会	2024年06月30日
著書等出版物	単著	子どもの睡眠と保育	発達	178	64～69	ミネルヴァ書房	2024年05月10日
著書等出版物	編著	保育者に求められる専門性と研修	『保育者論』		36～45	光生館	2023年03月30日
著書等出版物	共著	「健康な心と体」にかかわる発達と保育	『子どもの発達からみる「10の姿」の保育実践』		12～25	ぎょうせい	2023年01月10日
著書等出版物	共著	きみはぼうさいたいし			32	金の星社	2021年06月05日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	新任保育士の睡眠習慣に及ぼす幼児期・学童期の生活習慣の影響	東京小児科医会報	34,2	31～34	東京小児科医会	2015年11月
論文	共著	Child sleep in Japan perspective:based on experience during these 10 years	Biological and Biomedical Reports	2,4	212～216	BMB	2012年06月
論文	共著	保育所で働く保育士のワーキングモチベーションおよびメンタルヘルスとそれらの要因	小児保健研究	67,1	367～374	日本小児保健協会	2008年
論文	共著	保育所に勤務する保育士の職場環境と腰痛および頸肩腕症状との関連	小児保健研究	66,6	789～796	日本小児保健協会	2007年06月
論文	共著	Children's ability to copy triangular figures is affected by their sleep-wakefulness rhythms	Sleep & Biological Rhythms	3,2	86～91	日本睡眠学会	2005年06月

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目
2024年度: 教育実習IB(事後指導)(幼), 教育実習IA(事前指導)(幼), 保育内容(健康), 保育原理, 教職実践演習, 教職論, 演習(人間開発学部), 保育内容研究, 演習・卒業論文(人間開発学部)

【 職・氏名 】	助教 中野 圭祐 (NAKANO Keisuke)
【 学 位 】	修士(教育学) (2015年03月20日,東京学芸大学大学院教育学研究科,修第9076号)
【本学就任年月日】	2019年04月01日
【 略 歴 】	東京学芸大学 教育学部幼稚園教員養成課程 卒業 東京学芸大学 大学院教育学研究科音楽教育専攻音楽科教育コース 修士課程 修了
【 研究分野 】	音楽教育, 幼児教育
【 所属学会 】	日本乳幼児教育・保育者養成学会, 保育教諭養成課程研究会, 日本乳幼児教育学会, 日本音楽教育学会, 日本保育学会
【学外委員等活動】	
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	手遊び歌実演方法による子どもの夢中度の違い 一熟達保育者と非熟達保育者の比較一	國學院大學人間開発学研究	16	13～28	國學院大學人間開発学会	2025年03月01日
論文	単著	手遊び歌実施時のテンポの揺らぎについて 一人的環境としての保育者の視点から一	國學院大學人間開発学研究	第15号	17～34	國學院大學人間開発学会	2024年02月28日
論文	単著	「地域に伝わる音楽」の授業における小学校と地域との連携についての考察:「こきりこ」の取り組みから	國學院大學人間開発学研究	14	57～70	國學院大學人間開発学会	2023年02月
論文	単著	幼児の遊びにおける音楽表現が協同的な学びにつながる過程とその援助 一5歳児の劇ごっこでの姿に着目して一	乳幼児教育・保育者養成研究	第2号	131～144	一般社団法人 日本乳幼児教育・保育者養成学会	2022年03月20日
Misc	単著	子どもの遊びとルールを考える	女子体育	64(4)	10～13	公益財団法人 日本女子体育連盟	2022年04月08日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
Misc	単著	子どもと作る劇遊びのために	発達	165号	37～43	ミネルヴァ書房	2020年01月25日
著書等出版物	監修	遊びの中で試行錯誤する子どもと保育者 子どもの「考える力」を育む保育実践			16～45, 99～107	明石書店	2019年11月01日
講演・発表	単独	講演 自然と保育の接点を考える	全国幼稚園教育研究会 東京支部			全国幼稚園教育研究会 東京支部	2024年11月29日
講演・発表	単独	東京学芸大学附属幼稚園 公開保育検討会講師(3歳児)	東京学芸大学附属幼稚園			東京学芸大学附属幼稚園	2024年10月31日
講演・発表	単独	中央区立晴海幼稚園 園内研究会講師	中央区立晴海幼稚園			中央区立晴海幼稚園	2024年10月30日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目	
2024年度: 導入基礎演習, 教職実践演習, 専門基礎演習, 演習・卒業論文(人間開発学部), 教育インターンシップ, 教育実習IA(事前指導)(幼), うたとオペレッタ, 教育実習IB(事後指導)(幼), 幼児と環境, 保育内容(環境), 演習(人間開発学部)	

【 職・氏名 】	教授 夏秋 英房 (NATSUAKI Hidefusa)
【 学位 】	文学修士
【 本学就任年月日 】	2007年11月01日
【 略 歴 】	上智大学 文学部教育学科 卒業 上智大学 大学院文学研究科 博士前期課程 修了 上智大学 大学院文学研究科 博士後期課程 満期退学
【 研究分野 】	教育社会学・児童社会学
【 所属学会 】	日本村落研究学会, 日本社会学会, 日本教育社会学会, 日本カトリック教育学会, 日本子ども社会学会, 地域社会学会, 國學院大學人間開発学会
【 学外委員等活動 】	[過去5年間] 川崎市教育委員会 川崎市立土橋小学校校運営協議会委員, NPO法人サポートネットほっとピア 監査, 國學院大學人間開発学会紀要編集委員長, 少年法研究会世話人
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
著書等出版物	共著	『保育・教職実践演習:学びの軌跡の集大成を目指して』			208(179～194)	中央法規出版	2025年
著書等出版物	共著	『変貌する祭礼と担いのしくみ(第二版)』			322(153～190)	学文社	2024年

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	東ティモールにおける学校教育とカトリック教会:独立への歴史的経緯に注目して	國學院大學人間開発学研究	第7号	135～156	國學院大學人間開発学会	2016年02月
論文	共著	地域芸能の継承様式の変容に関する社会学的研究～長野県小海町の人形三番叟をめぐって～	國學院大學紀要	49	17～40	國學院大學	2011年03月01日
著書等出版物	共著	『地域コミュニティと教育～地域づくりと学校づくり』			256	放送大学教育振興会	2018年03月
著書等出版物	共著	子どもの発達社会学—教育社会学入門			180(78～90)	北樹出版	2011年01月25日
著書等出版物	共著	『児童福祉の諸問題に関する基礎的調査』			256	ブレーン出版	2001年01月01日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	地域教育・保育支援プラットフォームの構築過程の研究	日本学術振興会	夏秋英房	17K01912	4680000	2017年04月01日～2020年03月31日
科研費	基盤研究(B)	カトリック系人文主義教育と日本—イエズス会を中心に—	日本学術振興会	桑原直巳	15H03470	18200000	2015年04月01日～2019年03月31日
科研費	基盤研究(C)	特別活動の家庭・地域社会への連携・移行過程に関する研究	日本学術振興会	夏秋英房	09610295	2100000	1997年度～1999年度

担当授業科目	
2024年度: 人間開発基礎論(人間力育成の人間学), 多文化共生と現代社会, 教育と社会, 教職実践演習, こども生活基礎論, 教育と社会, フィールドワーク演習, 地域教育社会学【月曜日オンデマンド型授業】], 演習・卒業論文(人間開発学部), 教育実習II(参観実習)(幼), 教育実習III(教壇実習)(幼)	

【 職・氏名 】	教授 野澤 純子 (NOZAWA Junko)
【 学位 】	博士(ヒューマン・ケア科学) (2007年03月26日,筑波大学,博甲第4376号)
【本学就任年月日】	2022年04月01日
【 略 歴 】	筑波大学 教育研究科 障害児教育専攻 修士課程 修了 筑波大学 人間総合科学研究科 ヒューマン・ケア科学障害福祉支援学専攻 5年一貫博士課程 修了
【 研究分野 】	国際教育開発, 臨床発達心理学, 特別支援保育, 特別支援教育
【 所属学会 】	日本乳幼児教育学会, 日本保育学会, 日本福祉心理学会, 日本臨床発達心理士会, 日本特殊教育学会
【学外委員等活動】	[過去5年間]日本乳幼児教育学会 理事, 小平市教育委員会 就学支援委員会委員, 日本福祉心理学会 常任理事, 日本福祉心理学会 学会大会・研修会企画委員会 委員, かせいの森放課後等デイサービスつくし 副施設長, 日本福祉心理学会「福祉心理学研究」編集副委員長, 国際スヌーズレン協会日本支部 全日本スヌーズレン研究会 理事, 入間市児童発達支援センター運営協議会 委員, 入間市障害者福祉審議会 委員
【 受賞歴等 】	令和4年度國學院大學人間開発学会研究奨励賞(2023年11月11日), The 4th Asian Society of Child Care優秀発表賞(2012年8月25日)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	フィンランドにおける外国籍の特別ニーズ児への支援取組	未来の保育と教育	11 巻	89～95	東京未来大学	2024年09月30日
論文	共著	保育所における外国籍の特別ニーズ児への 対応の課題と工夫	日本社会福祉マネジメント学会誌		4～16	日本社会福祉マネジメント学会	2024年03月25日
論文	共著	保育所等における特別ニーズ児と保護者への支援とその体制に関する研究	保育学研究	61, 1	7～18, 12	日本保育学会	2023年08月31日
論文	共著	乳幼児および学童期を育てる外国人家庭の子育ての課題と必要な支援について	東京未来大学研究紀要	17	199～208	東京未来大学	2023年03月31日
論文	共著	外国人幼児の障害の早期発見―担当保育者による障害の徴候への気づきに注目して―	國學院大學人間開発学研究	14	33～43	國學院大學人間開発学会	2023年02月

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
著書等出版物	共著	これから学ぶ・理解する子ども家庭福祉			160(78～86)	一藝社	2024年03月01日
著書等出版物	共著	子ども家庭支援論演習ブック(よくわかる! 保育士エクササイズ)			200(26～59, 102～115)	ミネルヴァ書房	2023年11月14日
著書等出版物	共著	使ってみよう! スヌーズレン			152(24～27, 96～97)	ジアース社	2022年09月21日
著書等出版物	共著	社会的子育ての実現―一人とつながり社会をつなぐ、保育カウンセリングと保育ソーシャルワーク			189(81～93)	ナカニシヤ出版	2022年04月13日
著書等出版物	共著	よくわかる! 保育士エクササイズ「障害児保育演習ブック」			209(56～67, 134～173)	ミネルヴァ書房	2021年 09月30日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	インクルーシブな環境下で実施する野外活動プログラムの総合的構築	日本学術振興会	橋本陽介	24K05799	4680000	2024年04月01日～2027年03月31日
科研費	基盤研究(C)	保育における障害の可能性のある外国人幼児の早期把握と支援に関する研究	日本学術振興会	野澤純子	21K02716	4160000	2021年04月01日～2026年03月31日
科研費	基盤研究(C)	特別支援学校の自立活動指導におけるスヌーズレン適用の実践と課題	日本学術振興会	柳本雄次	21K02726	3120000	2021年04月01日～2025年03月31日

担当授業科目

2024年度: 障害児保育I, 導入基礎演習, 特別な教育的ニーズとインクルーシブ社会, 子育て支援, ライフイベント論, 保育実習指導III(事前指導), 演習(人間開発学部), 障害児保育II, 演習・卒業論文(人間開発学部), 保育実習I(保育所), 保育実習I(施設), 保育実習II(保育所), 保育実習III(施設), 保育実習指導III(事後指導)

【 職・氏名 】	准教授 廣井 雄一 (HIROI Yuichi)
【 学 位 】	修士(社会福祉学)
【本学就任年月日】	2005年04月01日
【 略 歴 】	玉川大学 文学部教育学科 卒業 東洋大学 大学院福祉社会デザイン研究科 修士課程 修了
【 研究分野 】	子ども家庭福祉、保育者養成
【 所属学会 】	日本社会福祉教育学会, 日本重症心身障害学会, 日本保育学会, 日本乳幼児教育学会
【学外委員等活動】	[過去5年間]豊島区 子ども・子育て会議, 横浜市 横浜市子育て支援事業運営事業者選定委員会, 昭島市 子ども・子育て会議 副会長, 世田谷区 認可保育所・整備運営事業者選定委員会
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
Misc	共著	新任が育つ環境―「新任らしさ」の 分析の視点から―	幼稚園におけるミドル リーダー育成のため の現代的な研修シス テムの開発		69(36～41)	前田印刷株式会社	2021年03月31日
著書等出版物	共著	学び合い、深め合う園内研修―特 別な配慮が必要な子どもとの関わり を考える44のワーク―			174(20～23、 40)	中央法規出版株式 会社	2024年08月15日
著書等出版物	共著	保育者論―保育者としての専門的 成長を支える―			185(97～106)	株式会社光生館	2023年03月30日
著書等出版物	共著	保育・教職実践演習―学びの軌跡 の集大成を目指して―			192(65～75)	株式会社光生館	2021年03月31日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	児童養護施設における家庭的環境 に関する一考察	実践人間学	第10号	30～ 38	実践人間学研究会	2019年09月20日
論文	単著	新任教員に対するサポート内容に 関する考察―私立幼稚園を中心と した園長と新任教員の意識の相違 に注目して―	保育教諭養成課程研 究	第4号	15～ 22	一般社団法人保育 教諭養成課程研 究会	2018年01月31日
論文	単著	障害児入所施設で働く保育士の意 識	國學院大學人間開発 学研究	第7号	157～ 163	國學院大學人間開 発学部	2016年02月29日
著書等出版物	共著	輝く子どもたち 子ども家庭福祉論			233(88～104)	株式会社みらい	2017年04月05日
著書等出版物	共著	保育職としての保育者―保育者の 力量形成に視点をあてて―			(98～108)	株式会社光生館	2016年09月01日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	幼稚園におけるミドルリーダー育成 のための現代的な研修システムの 開発	日本学術振興会	神長 美津子	17K04642	4160000	2017年04月01日～ 2021年03月31日
科研費	基盤研究(C)	保育相談力向上をめざす園内研修 システムの開発	日本学術振興会	神長 美津子	26381097	4550000	2014年04月01日～ 2017年03月31日

担当授業科目	
2024年度: 保育実習指導Ⅲ(事後指導), 保育実習指導ⅠA, 専門基礎演習, 保育実習Ⅱ(保育所), 保育実習Ⅲ(施設), 導入基礎演習, 子ども家庭福祉, 演習(人間開発学部), 社会的養護Ⅰ, 保育実習指導Ⅲ(事前指導), 保育実習指導ⅠB, 保育実習Ⅰ(施設), 保育実習Ⅰ(保育所), 社会福祉, 教育インターンシップ, 教職実践演習, 演習・卒業論文(人間開発学部)	

【 職・氏名 】	准教授 柳生 崇志 (YAGYU Takashi)
【 学位 】	修士(心理学) (2001年03月29日, 東京大学)
【 本学就任年月日 】	2022年04月01日
【 略 歴 】	早稲田大学 第二文学部社会専修 卒業 東京大学 大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻心理学専門分野 修士課程 修了 東京大学 大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻心理学専門分野 博士課程 満期退学
【 研究分野 】	幼児教育学、子育て環境、保育と心理、Representation、Memory
【 所属学会 】	世界乳幼児精神保健学会, 国際幼児教育学会, 日本幼児体育学会, 日本子育て学会, こども環境学会
【 学外委員等活動 】	
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	東京未来大学における「ハラスメント防止研修」のアンケート結果まとめ	東京未来大学研究紀要	18	149～162	東京未来大学	2024年03月31日
論文	共著	Foreign language side effect when inner language is suspected to accompany thinking: Lowered thinking ability in daily verbal communication	Cognitive Studies: Bulletin of the Japanese Cognitive Science Society	28, 2	271～281	Japanese Cognitive Science Society	2021年06月01日
著書等出版物	共著	ICT×保育を考える保育内容総論			35～42	建帛社	2024年04月05日
著書等出版物	共編著	子どもと保育ー保育内容(健康, 人間関係, 環境, 言葉, 表現)の理解を目指してー			5～13, 112～119, 164～170	大学図書出版	2022年09月14日
講演・発表		熟達保育者による手遊び実演が幼児のフロー体験に与える影響	人間開発学会第16回大会			國學院大學人間開発学部	2024年09月28日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	自然体験活動と学びの深化～主体的な学びと体験学習	沖縄女子短期大学紀要	31	51～59	沖縄女子短期大学	2018年03月31日
論文	共著	地域に密着した幼児期の体験活動と幼児期の感性を育む環境について	沖縄女子短期大学紀要	31	37～49	沖縄女子短期大学	2018年03月31日
著書等出版物	共編著	保育の心理学Ⅰ			8～13	大学図書出版	2013年04月02日
著書等出版物	共編著	保育の心理学Ⅱ			102～107, 114～121	大学図書出版	2013年04月02日
講演・発表		OS15沖縄における産官学連携による子育て支援 子どもの心理的発達に及ぼす環境の力をどう捉えるか? 沖縄における産官学連携による子育て支援ー育児工学的アプローチの可能性を探るー	第58回日本生体医工学会			日本生体医工学会	2019年06月08日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	幼児教育・保育の無償化は沖縄の子育て環境・教育の貧困化対策として機能するか?	日本学術振興会	柳生 崇志	20K02722	4290000	2020年04月01日～2025年03月31日
科研費	基盤研究(C)	沖縄における子育て環境の貧困化対策としての産官学連携子育て支援策のパッケージング	日本学術振興会	柳生 崇志	16K01903	4810000	2016年04月01日～2019年03月31日
大学内競争研究費	特別研究助成	幼児のFlowを引き出す園環境	東京未来大学	柳生 崇志		350000	2020年04月01日～2021年03月31日

担当授業科目	
2024年度: 導入基礎演習, 保育内容総論, あそびと玩具, 幼児と人間関係, 保育方法論, 専門基礎演習, 教育実習IA(事前指導)(幼), 演習(人間開発学部), 演習・卒業論文(人間開発学部), 教育実習II(参観実習)(幼), 教育実習III(教壇実習)(幼), 教育実習IB(事後指導)(幼)	

【 職・氏名 】	教授 山瀬 範子 (YAMASE Noriko)
【 学位 】	修士(教育学)
【 本学就任年月日 】	2013年04月01日
【 略 歴 】	九州大学 教育学部 卒業 九州大学 大学院人間環境学府発達・社会システム専攻教育学コース 修士課程 修了 九州大学 大学院人間環境学府発達・社会システム専攻教育学コース 博士課程 満期退学
【 研究分野 】	教育学、教育社会学
【 所属学会 】	日本教育学会, 日本保育学会, 日本教育社会学会, 日本子ども社会学会, 子ども環境学会, 九州教育学会, 九州教育社会学会, 日本乳幼児教育学会
【 学外委員等活動 】	[過去5年間] 日本子ども社会学会 専門査読委員, 日本子ども社会学会 理事, 特定保育施設等における重大事故の再発防止のための検証委員会 委員, 横浜市児童福祉審議会 保育部会 委員, 横浜市子ども・子育て会議 保育・教育部会 委員, 日本子ども社会学会 研究交流委員, NPO法人ワーカーズ・コレクティブパレット 外部理事
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「ミドルリーダーとされる理由～幼稚園等の園長を対象とした質問紙調査を基に～」	『乳幼児教育・保育者養成研究』	第3号	79～87	日本乳幼児教育・保育者養成学会	2023年3月
著書等出版物	共著	『保育者論』			185(21～33)	光生館	2023年3月
著書等出版物	共著	『保育内容人間関係 第2版』			178(1～13)	光生館	2021年11月

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	共著	「保育者養成における「子ども理解」の批判的検証」	『國學院大學人間開発学研究』	第11号	79～95	國學院大學人間開発学会	2020年2月
論文	共著	家庭で子育てをする保護者の実情・実態と保護者支援の手がかり	『國學院大學人間開発学研究』	第11号	79～95	國學院大學人間開発学会	2020年02月
著書等出版物	共著	『豊かな育ちのための保育内容総論』			202(162～173)	ミネルヴァ書房	2020年3月
著書等出版物	共訳	ピア・パワー 子ども仲間集団の社会学			434(95～167)	九州大学出版会	2017年08月31日
著書等出版物	共著	3・4・5歳児のごっこ遊び：幼児教育・保育のアクティブ・ラーニング：Q&A+事例+ドキュメンテーション+指導計画+園内研修の方法+「遊びの中での学び」			167(153～154)	ひかりのくに	2017年3月

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	幼稚園におけるミドルリーダー育成のための現代的な研修システムの開発	日本学術振興会	神長美津子	17K04642	4160000	2017年4月1日～2021年3月31日
科研費	基盤研究(C)	保育相談力向上をめざす園内研修システムの開発	日本学術振興会	神長美津子	26381097	4550000	2014年04月01日～2017年03月31日
科研費	若手研究(B)	「父親」をめぐる育児に関する意識の形成・変容に関する研究	日本学術振興会	山瀬 範子	23700867	390000	2011年04月28日～2013年03月31日

担当授業科目

2024年度：保育内容(人間関係), 導入基礎演習, 保育実習Ⅲ(施設), 保育実習指導IB, 保育実習I(施設), 幼児教育史, 保育実習I(保育所), 子ども家庭支援論, 保育実習指導IA, 教育の原理, 演習・卒業論文(人間開発学部), 演習(人間開発学部)

【 職・氏名 】	教授 結城 孝治 (YUKI Takaharu)
【 学 位 】	修士(教育学)
【本学就任年月日】	2003年04月01日
【 略 歴 】	北海道大学 教育学部 卒業 北海道大学 大学院 修士課程 教育学研究科 修了 北海道大学 大学院 博士後期課程 教育学研究科 満期退学
【 研究分野 】	臨床発達心理学、発達心理学
【 所属学会 】	日本発達心理学会, 日本教育心理学会, 日本子ども社会学会, 日本臨床発達心理士会
【学外委員等活動】	[過去5年間]社会福祉法人嬉泉 相談支援員
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
著書等出版物	編著	子どもの姿から考える 保育の心理学			25～41	アイ・ケイ・コーポレーション	2022年04月01日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	幼児期における教育相談の意義についての一考察	國學院大學人間開発学 研究	第9号	97～119	國學院大學人間開 発学会・國學院大學 人間開発学部	2018年02月28日
論文	単著	保育実習事後指導が保育者効力 感及び実習に対する不安に及ぼす 影響	國學院大學人間開発学 研究	第8号	49～67	國學院大學人間開 発学会・國學院大學 人間開発学部	2017年02月28日
論文	単著	1歳児クラスにおける「気になる子」と 集団形成との相対的關係	臨床発達心理実践研 究	第10巻 (1)	78～86	臨床発達心理士会	2015年07月20日
著書等出版物	共編著	幼児理解の理論と方法			212(19～30, 130～140, 171～175, 193～196)	光生館	2019年02月20日
著書等出版物	共著	子どもの育ちを支える発達心理学			160(11～21)	朝倉書店	2013年01月20日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目

2024年度:心の科学,臨床発達心理,演習(人間開発学部),子ども家庭支援の心理学,幼児理解の理論と方法,教育の統計,教育相談,発達と学習(幼),演習・卒業論文(人間開発学部),教育相談(幼)

【 職・氏名 】	教授 吉永 安里 (YOSHINAGA Asato)						
【 学 位 】	博士(子ども学) (2022年03月15日,白梅学園大学,甲第17号)						
【本学就任年月日】	2013年04月01日						
【 略 歴 】	東京女子大学 文理学部心理学科 卒業 東京学芸大学 教育学研究科 国語教育専攻国語科教育コース 修了 白梅学園大学 大学院子ども学研究科 博士課程 修了						
【 研究分野 】	幼児期のことばの発達、小学校国語科教育						
【 所属学会 】	日本発達心理学会, 日本子育て学会, 日本読書学会, 東京学芸大学国語教育学会, 日本国語教育学会, 全国大学国語教育学会						
【学外委員等活動】	〔過去5年間〕東京書籍株式会社 東京教育研究所主任研究員, 学校法人駒場けやき学園駒場幼稚園 評議員, お台場学園・じのほし幼稚園学校運営協議会 学校運営協議会委員						
【 受賞歴等 】	読書科学研究奨励賞 (2022年09月19日)						
【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	『おおきなかぶ』における幼小の指導の連続性—読みの環境構成と指導内容の観点から—	読書科学62(3・4)		175～195	日本読書学会	2021年05月10日
著書等出版物	監修	外国につながる子供たちが生き生き輝く保育・教育～乳幼児期からの育ちを小中へつなぐ～(特別課題128)			執筆分担巻頭ページ2～3/ 監修巻頭ページ～48	東京教育研究所	2025年03月24日
著書等出版物	共編著	保育内容「言葉」と指導法: 子どもの心のことばに耳を澄まして			310	萌文書林	2025年02月03日
著書等出版物	分担執筆	集団で言葉を学ぶ/集団の言葉を学ぶ 第4章 集団で読むことはいかに成立するか—絵本の「読み聞かせ」の成立			第4章	ひつじ書房	2025年01月31日
著書等出版物	単著	幼児教育と小学校教育における言葉の指導の接続 読むことと指導の差異と連続性から			1～240	風間書房	2023年02月28日
【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	共著	幼児期の教育から小学校教育への言語指導の円滑な接続に関する一考察: ベルギー・フランダースのフレネ教育の実践から	國學院大學人間開発学研究(11)		57～77, 21	國學院大學人間開発学会	2020年02月
論文	共著	ドイツおよびベルギーの多文化教育実践	健康福祉研究	16, 1	13～20, 8	高崎健康福祉大学総合福祉研究所紀要	2019年09月
論文	共著	社会的行為としての絵本読み聞かせ	読書科学	61, 2	64～76, 13	日本読書学会	2019年07月22日
論文	単著	幼小の読みの指導の差異性と共通性 —日本, アメリカ, ベルギーの事例検討から—	読書科学	60, 3	138～155	日本読書学会	2018年09月14日
論文	共著	保育者養成校における「幼小接続」に関する授業の実態—保育者養成課程の関連科目や生活科のシラバス分析から—	保育教諭養成課程研究第2号		3～16	保育教諭養成課程研究会	2016年11月01日
【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(B)	外国人児童の幼児期の言語習得と幼小接続を促す評価方法及び教育実践プログラムの開発	日本学術振興会	岡本 拓子	20H01660	17550000	2020年04月01日～ 2024年03月31日
科研費	基盤研究(B)	言葉の教育における円滑な幼小接続を実現する系統的かつ互恵的な実践モデルの開発	日本学術振興会	吉永 安里	17H02705	8710000	2017年04月01日～ 2020年03月31日
科研費	研究活動スタート支援	小学校国語科の読みと幼稚園領域ことばの教師の教授スタイルに関する研究	日本学術振興会	吉永 安里	25885070	2340000	2013年08月30日～ 2015年03月31日
担当授業科目							
2024年度: 保育内容(言葉), 保育内容(環境), 導入基礎演習, 教育の方法と技術(幼), 演習(人間開発学部), 幼児と言葉, 絵本とことば, 教育実習IA(事前指導)(幼), 教職実践演習, 演習・卒業論文(人間開発学部), 教育実習II(参観実習)(幼), 教育実習III(教壇実習)(幼), 教育実習IB(事後指導)(幼)							